

平成28年度

就職・採用活動時期の変更に関する調査（大学）

調査結果報告書

平成29年3月

就職問題懇談会

（事務局：文部科学省）

目 次

1. 調査の概要	2
(1) 調査の目的	2
(2) 調査主体	2
(3) 調査実施方法	2
(4) 回答率	2
(5) 参考：学校種別の内訳	2
2. 調査の主な結果	4
3. 実施結果	9
I. 大学の属性について	9
II. 就職・採用活動時期の変更に関する大学の取組について	14
III. 本年度の就職・採用活動の状況	31
IV. 就職・採用活動時期の変更による影響について	71
V. 就職・採用活動における企業側の学業に対する配慮について	86
VI. 就職・採用活動におけるハラスメント的な行為について	117
VII. 採用選考活動における学生の評価について	123
4. 調査票	127
5. 巻末資料	146

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

学生の就職・採用活動の早期化・長期化の是正については、国公立の大学、短期大学及び高等専門学校で構成する就職問題懇談会（事務局：文部科学省）から大学等関係団体の総意として経済団体等に対し、要請を行い、意見交換を重ねた結果、平成27年度卒業・修了予定者から広報活動の開始時期は卒業・修了前年度の3月、採用選考活動の開始時期は8月に変更（後ろ倒し）された。

これについては、卒業・修了前年度の学修時間を確保できたという成果が確認された一方で、卒業・修了年度の1学期全期間を通じての学修に支障が生じている実態が伺われるなど、改善を要すると思われる点も確認された。これを踏まえて、就職問題懇談会、経済界及び関係府省で、議論を重ね、平成27年12月に、平成28年度卒業・修了予定者については、学生の学業への配慮を十分に行いながら、広報活動の開始時期は卒業・修了前年度の3月を維持しつつ、採用選考活動の開始時期は6月に変更することとなった。

このような背景を踏まえ、就職・採用活動の状況を把握し、今後の就職・採用活動の円滑な実施の検討に資することを目的とし、本調査を実施した。

(2) 調査主体

就職問題懇談会（事務局：文部科学省）

（調査票の郵送、回収、集計は株式会社SHネットにて実施）

(3) 調査実施方法

対象：全国の国公立大学、短期大学 合計1,125校

方法：調査票の送付

期間：平成28年7月19日（火）～8月10日（水）

※8月1日現在の状況を回答

(4) 回答率

発送数：1,125件、有効回答件数：1,005件

回答率：89.4%

(5) 参考：学校種別の内訳

国立大学	100.0%	公立大学	90.9%	私立大学	90.8%
公立短期大学	82.3%	私立短期大学	83.7%		

留意点

この報告書で「大学」と表記しているところは、特に断りがない限り大学と短期大学の両方を含むものとして使用している。

本調査の調査時における用語の定義

- ・「就職活動」とは、学生が具体的な就職先を決定するための活動として、会社説明会への参加、エントリーシートの記入・提出、企業訪問など企業の「採用活動」に対応して行う活動を指します。
- ・「採用活動」は「広報活動」と「採用選考活動」に分けられます。「広報活動」とは、企業が採用予定数や選考スケジュールなど採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動であって採用のための実質的な選考とならない活動を指します。「採用選考活動」とは、企業が面接等の採用のための実質的な選考を行う活動であって、採用のために参加が必須となる活動を指します。
- ・「就職活動」と「採用活動」を合わせたものを「就職・採用活動」とします。
- ・「本年度」とは、平成28年度を指し、「本年度の就職・採用活動」とは平成29年3月卒業・修了予定者に関する就職・採用活動を指します。
- ・本調査における「大学」とは、国公立大学と公立短期大学の両方を含めています。
- ・「申合せ」とは、「平成28年度大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者に係る就職について（申合せ）」（平成27年12月8日 就職問題懇談会）を指します。
- ・「昨年度調査」とは「平成27年度就職・採用活動時期の変更に関する調査（大学）」を指します。 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/gakuseishien/1377503.htm

2. 調査の主な結果

就職・採用活動時期の変更に関する大学の取組みについて

【企業に対する「申合せ」の周知状況について】

- 企業に対して、就職問題懇談会の「申合せ」に記載されている就職活動時期変更の趣旨や学生の学業への配慮を周知したか尋ねたところ、「周知した」と回答した大学は48.1%、「周知していない」と回答した大学は51.2%であった。

【企業に対する周知をしていない理由】

- 申合せを「周知していない」と回答した大学（515大学）において、周知しなかった理由を尋ねたところ、「既に就職問題懇談会や政府から企業へ周知を行っているので、それで足りると考えた」と回答した大学が58.8%と最も多く、「学内で企業説明会を実施していない等、企業との接点がないため周知する機会がなかった」との回答が14.2%であった。

本年度の就職・採用活動の状況について

【本年度の卒業・修了予定者に対する企業の広報活動時期】

- 多くの企業が広報活動を開始した時期は概ねいつ頃であったか尋ねたところ、文系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については「平成28年3月」と回答した大学が72.4%と最も多く、77.9%が平成28年3月以降に広報活動を開始したと回答した。また、中小企業については「平成28年3月」と回答した大学が57.6%と最も多く、65.7%が平成28年3月以降に広報活動を開始したと回答した。
- 理系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については、「平成28年3月」と回答した大学が55.5%と最も多く、平成28年3月以降との回答の合計が65.5%であった。また、中小企業については「平成28年3月」と回答した大学が45.1%と最も多く、平成28年3月以降との回答の合計が57.9%であった。

【本年度の卒業・修了予定者に対する企業の採用選考活動時期について】

- 多くの企業が採用選考活動を開始した時期は概ねいつ頃であったか尋ねたところ、文系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については、「平成28年6月」と回答した大学が33.7%と最も多く、平成28年6月より前との回答の合計が56.7%であった。また、中小企業については「平成28年4月」と回答した大学が36.2%と最も多く、6月より前との回答の合計が77.5%であった。
- 理系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については、「平成28年6月」と回答した大学が24.8%と最も多く、平成28年6月より前との回答の合計が49.6%であった。また、中小企業については「平成28年4月」と回答した大学が27.9%と最も多く、6月より前との回答の合計が61.4%であった。

【本年度の卒業・修了予定者の就職活動時期について】

○多くの学生が最初に内々定を得た時期は概ねいつ頃か尋ねたところ文系・大企業は6月（平成28年）57.8%、次いで7月（平成28年）以降18.8%であった。

文系・中小企業は、6月（平成28年）以降32.0%、次いで5月（平成28年）29.7%であった。

理系・大企業は6月（平成28年）44.7%、次いで7月（平成28年）以降17.0%であった。

理系・中小企業は、6月（平成28年）以降24.8%、次いで5月（平成28年）23.7%であった。

就職・採用活動時期の変更による影響について

【広報活動の開始時期が3月1日以降であることについて】

○広報活動開始時期が3月1日以降となり、就職・採用活動の開始時期が全体として後ろ倒しされたことについて、どのような影響があったのか尋ねたところ、以下の項目で「良い影響があった」「どちらかというが良い影響があった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・学生が学部3年次の後期試験に落ち着いて取り組めるようになった。（34.5%）
- ・学部3年次の後期授業への出席（29.9%）
- ・卒業・修了前年度までの、インターンシップの参加促進（27.9%）
- ・卒業・修了前年度までの、授業やゼミの学修時間の確保（26.1%）

※短期大学の場合は、卒業前年次として回答。

○一方で、以下の項目で「悪い影響があった」「どちらかという悪い影響があった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・学生の企業研究の時間の確保（32.2%）
- ・エントリーシート の書き方、面接マナー等の就職活動の指導のための時間確保（18.2%）

【採用選考活動の開始時期が8月から6月に変更になったことについて】

(1) 良い影響があったと思うこと

○採用選考活動開始時期が8月から6月に変更になったことについて、大学への影響を尋ねたところ、以下の項目で「非常によい影響があった」「良い影響があった」「ある程度良い影響があった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済むこと（53.2%）
- ・学生が就職活動を比較的短期間で終えること（50.0%）
- ・卒業論文（研究）・修士論文（研究）の指導時間を確保すること（33.6%）

(2) 課題となったこと

- 採用選考活動開始時期が8月から6月に変更になったことについて、大学として課題になったことを尋ねたところ、以下の項目で「非常に大きな課題となった」「大きな課題となった」「ある程度課題となった」と回答した大学の割合が高かった。
 - ・企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなくなった学生がいた（55.3%）
 - ・実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで学生の就職活動に混乱が生じた（51.8%）
 - ・授業、試験等と重なり、学業に支障が生じた（46.2%）
 - ・教育実習と企業の面接の時期が重なる学生がおり、教育実習受入れ先との調整が必要となった（41.7%）

【留学経験者への影響について】

- 採用選考活動開始時期が8月から6月に変更されたことにより本年度卒業・修了予定者である学生の留学にどのような影響があったか尋ねたところ、「もともと留学する学生がいない（少ない）ためわからない」と回答した大学が68.0%と最も多かった。
- 上記を除くと、以下の回答が多かった。
 - ・「もともと就職・採用活動時期と重複しない時期に留学をした（又は今後留学する）学生が多く、全体としては影響がなかった」（24.2%）
 - ・「留学の取りやめ又は、期間短縮をすることなく、当初の予定どおり留学を優先した学生が一定数いた」（14.4%）
 - ・「既に留学していた又は留学する予定があったが、就職・採用活動の時期と重複したため、留学期間を短くした学生が一定数いた」（5.2%）

【教育実習受講者への影響について】

- 採用選考活動開始時期が8月から6月に変更されたことにより、本年度卒業・修了予定者である学生の教育実習にどのような影響があったか尋ねたところ、「取り止めや延期をせずに、当初予定どおり教育実習を受講した学生が一定数いた」と回答した大学が40.7%と最も多く、続いて、「教育実習と面接の日程が重なったため、採用面接を受けられなかった学生が一定数いた」（26.3%）、「企業に面接の日程を調整してもらって面接を受けることができた学生が一定数いた」（21.8%）であった。

【就職・採用活動開始時期の変更について】

- 就職・採用活動開始時期を変更することについてどのように考えているか尋ねたところ、「今よりも良い時期があれば変えるべきだが、変更には十分な検討を行い、適切な準備期間を設けるべき」と回答した大学が48.1%と最も多く、続いて「まずは現在の就職・採用活動時期について複数年にわたって状況を見て、十分検証すべきである」（26.4%）、「今よりも良い時期があれば、来年度からでも変えるべき」（7.8%）であった。

就職・採用活動時期における企業側の学業に対する配慮について

【企業側の学生への配慮状況】

- 本年度の就職・採用活動について、企業側が学生に配慮をしていたか尋ねたところ、以下の項目については、配慮している（「多くの企業で配慮していた」「ある程度の企業で配慮していた」の合計）と回答した大学が配慮していない（「配慮している企業は少なかった」「配慮している企業がなかった」の合計）と回答した大学より多かった。
 - ・個別の面接日時等の設定に当たり、余裕をもって連絡が行われていた。
配慮している（46.2%） 配慮していない（23.9%）
- 以下の項目については、配慮していないと回答した大学が、配慮していると回答した大学より多かった。
 - ・留学経験者向けのスケジュールを別途示すなど留学が不利にならないようにしていた。「配慮している」（6.4%） 「配慮していない」（18.1%）
 - ・教育実習の妨げにならないよう日程変更に応じるなどの配慮があった。「配慮している」（19.1%） 「配慮していない」（27.8%）
- その他の項目については、概ね同程度であった。
 - ・説明会や面接等の日程・時間帯について授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定をしていた。「配慮している」（39.0%） 「配慮していない」（36.2%）
 - ・個別の面接日時等の設定に当たり土日や平日夕方などの対応があった。「配慮している」（36.0%） 「配慮していない」（35.5%） など

【学生からの相談状況】

（1）授業、ゼミ、実験など

- 授業、ゼミ、実験などの時間と面接等の日程等が重なったため、企業に配慮してほしい旨の相談を受けた大学は43.7%であった。相談件数は、「5件以下」（40.8%）が最も多く、続いて「6～10件以下」（26.4%）、「11～20件以下」（18.7%）であった。

（2）留学

- 学生から留学時期と就職活動時期が重なってしまったため、面接等を別日程にしてほしい旨の相談を受けた大学は4.8%であった。

（3）教育実習

- 学生から教育実習の時期と就職活動時期が重なってしまったため、面接等を別日程してほしい旨の相談を受けた大学は33.8%であった。

【企業の対応（授業、ゼミ、実験と面接が重なった時）】

（１）大学から直接相談した場合の企業の対応

○学生の相談を受け、33.5%が大学から企業に相談をしており、結果、「ほぼすべての企業で配慮してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」と回答した大学の合計は76.2%であった。

（２）配慮できなかった企業の理由

○配慮できなかった企業の理由としては、「個別対応すると採用スケジュール全体に遅れが生じる」（36.6%）、「個別対応に人員を割けない」（28.2%）が多かった。

就職・採用活動時期における企業側のハラスメント的な行為について

【大学に対する相談の有無と件数】

○本年度の採用・選考活動について、学生から企業から学生の意思に反して他の企業への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為について、相談を受けたことがあるか尋ねたところ、「ある」と回答した大学は40.0%であった。

【相談件数】

○相談を受けたことがあると回答した大学（402校）に対し、相談件数を尋ねたところ、「5件以下」と回答した大学が52.5%と最も多く、続いて「6～10件」（21.4%）、「11～20件」（13.4%）であった。

【ハラスメント的な行為の内容】

○相談を受けたと回答した大学（402大学）に対し、どのようなハラスメント的な行為について相談を受けたか尋ねたところ、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」と回答した大学が75.6%と最も多く、続いて「内々定後、もともと大学の推薦状の提出は求められていなかったのに、推薦状を速やかに提出するように求められた」（50.7%）、「内々定後、懇談会が頻繁に開催され、必ず出席するように求められた」（25.6%）であった。

就職・採用選考活動における学生の評価について

【成績を活用した面接の実施状況】

○企業の採用選考活動において、成績表などを活用した面接が行われているか尋ねたところ、「多くの企業で行われている」「少しの企業で行われている」と回答した大学の合計は56.6%であった。

【学生を評価する際に、成績が重視されているか】

○企業の採用選考活動において、学生を評価する際に大学における成績成果（成績や履修履歴等）が重視されているか尋ねたところ、「多くの企業で重視されている」「ある程度重視されている」と回答した大学の合計は40.8%であり、「重視されていない」「あまり重視されていない」と回答した大学の合計は36.1%であった。

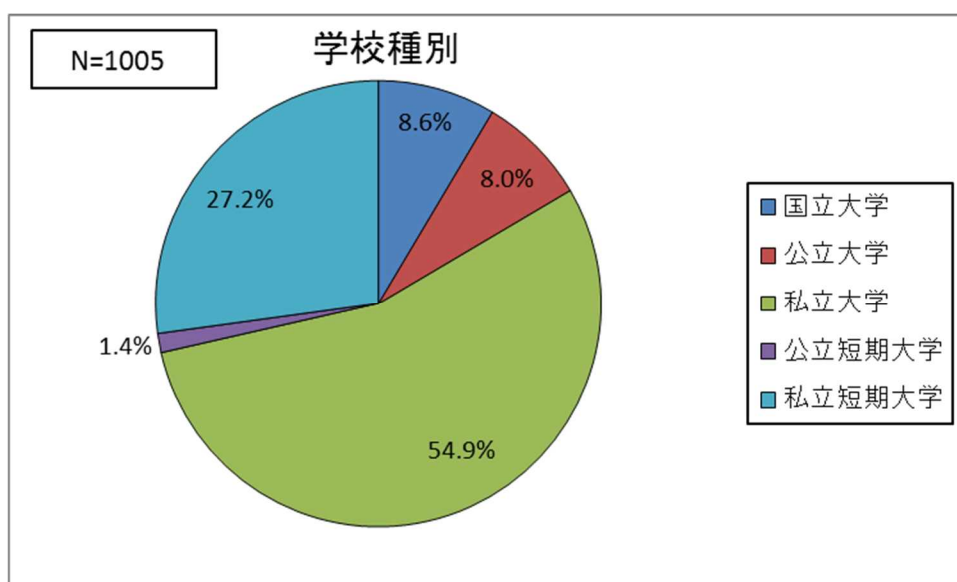
3. 実施結果

【大学に対する調査】

1. 大学の属性について

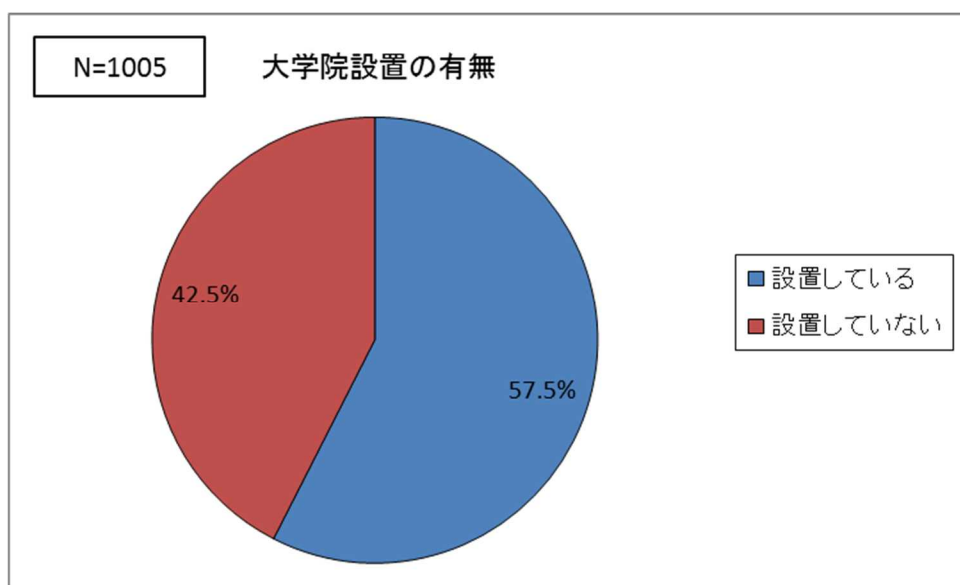
1 学校種別

全体	国立大学	公立大学	私立大学	公立短期大学	私立短期大学
1005	86	80	552	14	273
100.0%	8.6%	8.0%	54.9%	1.4%	27.2%



2 大学院設置の有無

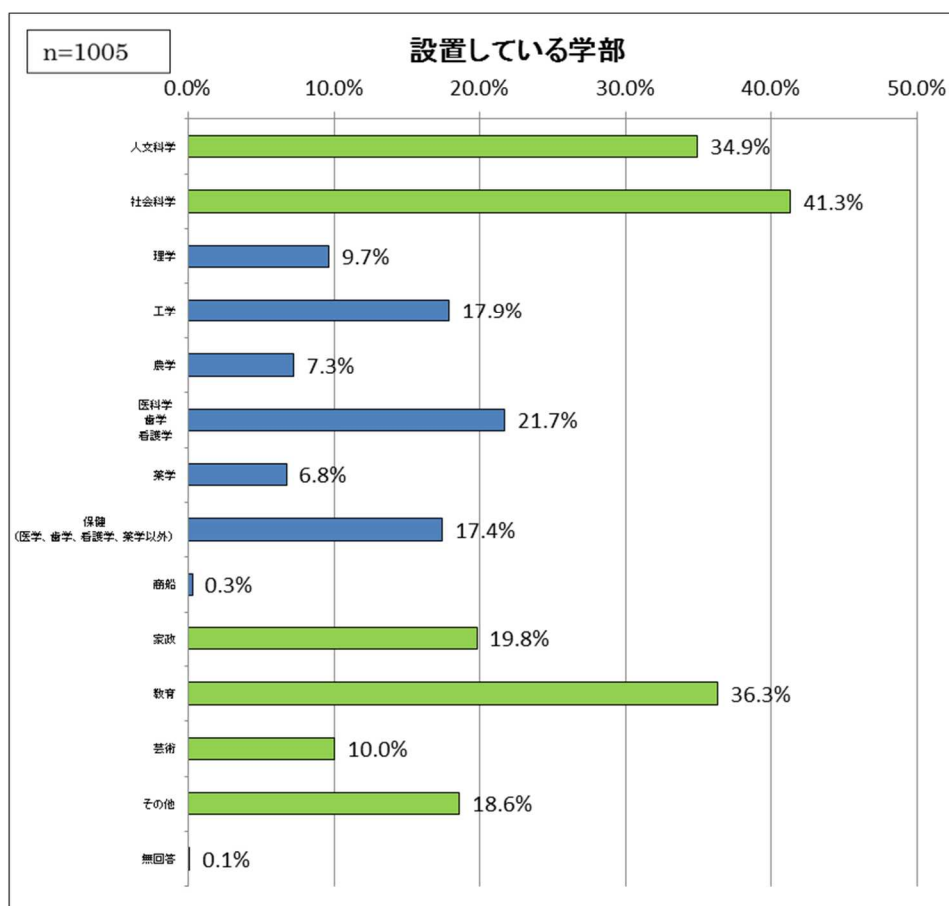
全体	設置している	設置していない
1005	578	427
100.0%	57.5%	42.5%



3 設置している学部

調査数	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	看護学 歯学 医科学
1005	351	415	97	180	73	218
	34.9%	41.3%	9.7%	17.9%	7.3%	21.7%

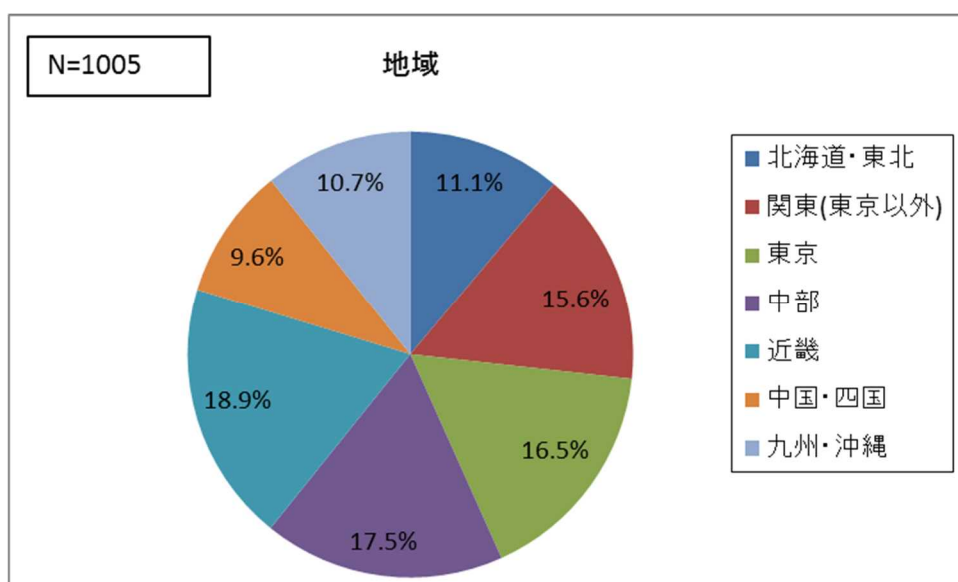
薬学	(医学、歯学、看護学、薬学以外) 保健	商船	家政	教育	芸術	その他	無回答
68	175	3	199	365	101	187	1
6.8%	17.4%	0.3%	19.8%	36.3%	10.0%	18.6%	0.1%



(注) 本調査では、「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を文系とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を理系として集計を行っている。

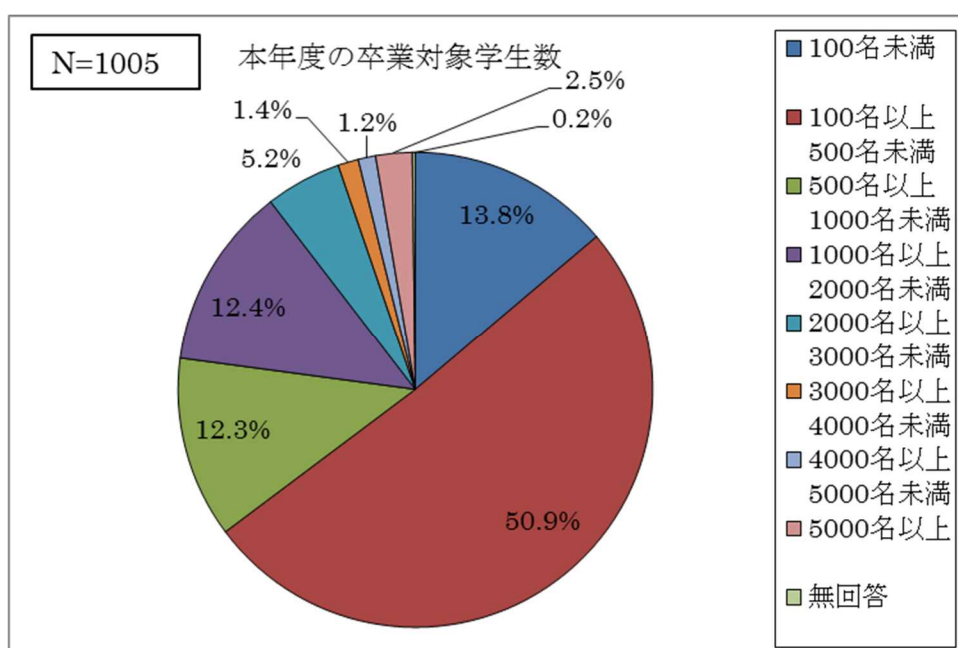
4 地域

全体	北海道・東北	関東（東京以外）	東京	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1005	112	157	166	176	190	96	108
100.0%	11.1%	15.6%	16.5%	17.5%	18.9%	9.6%	10.7%



5 本年度卒業対象学生数

調査数	100名未満	100名以上 500名未満	1000名未満 500名以上	2000名未満 1000名以上	3000名未満 2000名以上	4000名未満 3000名以上	5000名未満 4000名以上	5000名以上	無回答
1005	139	512	124	125	52	14	12	25	2
100.0%	13.8%	50.9%	12.3%	12.4%	5.2%	1.4%	1.2%	2.5%	0.2%



II. 就職・採用活動時期の変更に関する大学の取組について

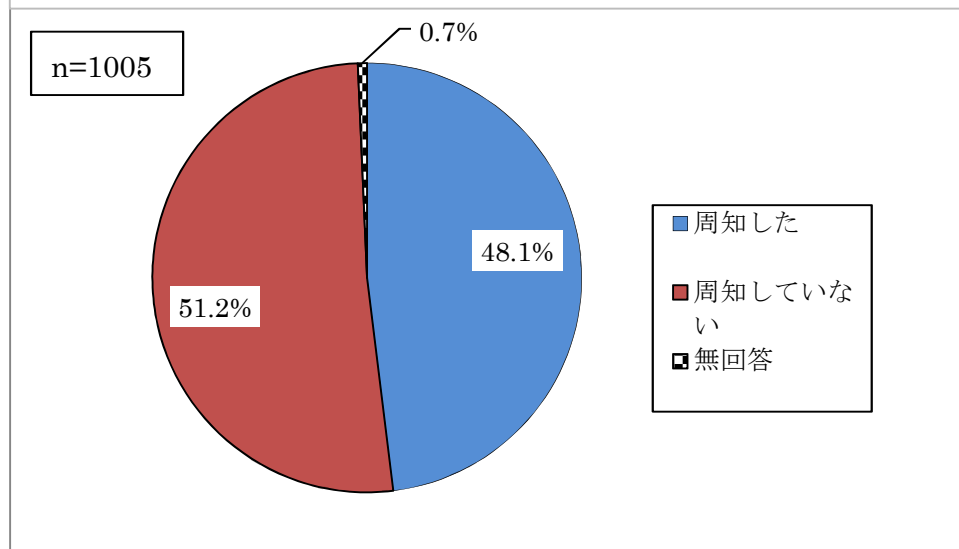
i. 【企業に対する「申合せ」の周知状況について】

< (1) 企業に対する「申合せ」の周知状況 >

企業に対して、就職問題懇談会の「申合せ」に記載されている就職活動時期変更の趣旨や学生の学業への配慮を周知したか尋ねたところ、「周知した」と回答した大学は48.1%、「周知していない」と回答した大学は51.2%であった。

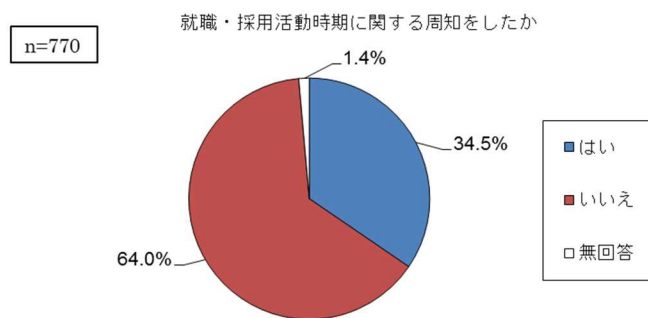
全体	周知した	周知していない	無回答
1005	483	515	7
100.0%	48.1%	51.2%	0.7%

企業に対して就職問題懇談会の「申合せ」に記載されている就職活動時期の変更の趣旨や学生の学業への配慮を周知しましたか。



<参考：昨年度調査>

就職問題懇談会の「大学等卒業・修了予定者の就職・採用活動時期変更」に係る企業等への要請に関する申合せ（平成 27 年 2 月 25 日）を学内で企業説明会等を実施する企業等に対して直接手交するなどして周知しましたか。（平成 27 年 3 月 1 日～9 月 30 日の間状況について回答してください。）



※今年度調査とは質問文が違うことに注意。

学校種別クロス集計表

		全体	周知した	周知していない	無回答
全体		1005	483	515	7
		100.0%	48.1%	51.2%	0.7%
学校種別	国立大学	86	74	10	2
		100.0%	86.0%	11.6%	2.3%
	公立大学	80	29	51	0
		100.0%	36.3%	63.8%	0.0%
	私立大学	552	276	271	5
		100.0%	50.0%	49.1%	0.9%
	公立短期大学	14	3	11	0
		100.0%	21.4%	78.6%	0.0%
	私立短期大学	273	101	172	0
		100.0%	37.0%	63.0%	0.0%
無回答	—	—	—	—	
	—	—	—	—	

地域数別クロス集計表

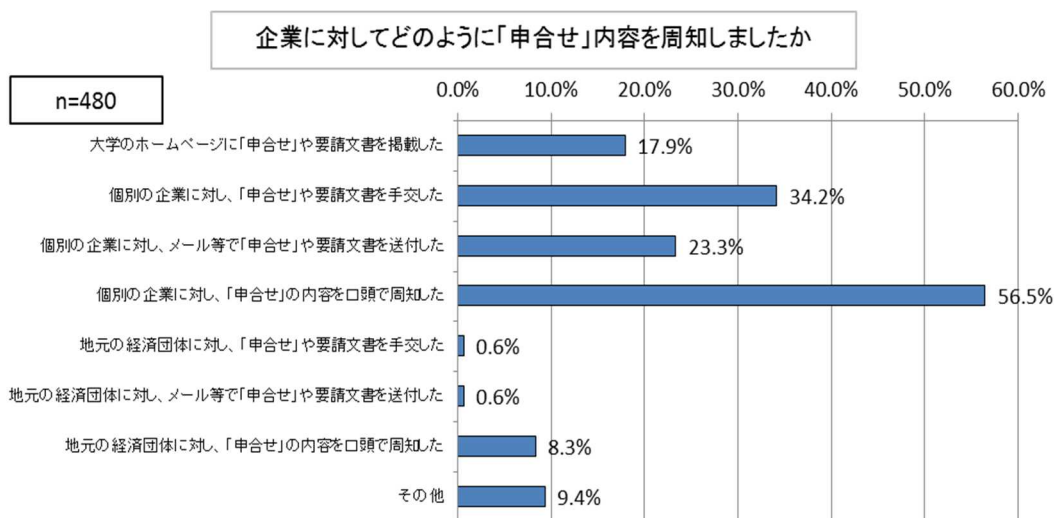
		全体	周知した	周知していない	無回答
全体		1005	483	515	7
		100.0%	48.1%	51.2%	0.7%
地域	北海道・東北	112	55	56	1
		100.0%	49.1%	50.0%	0.9%
	関東	157	63	93	1
		100.0%	40.1%	59.2%	0.6%
	東京都	166	88	76	2
		100.0%	53.0%	45.8%	1.2%
	中部	176	92	81	3
		100.0%	52.3%	46.0%	1.7%
	近畿	190	87	103	0
		100.0%	45.8%	54.2%	0.0%
	中国・四国	96	44	52	0
		100.0%	45.8%	54.2%	0.0%
	九州・沖縄	108	54	54	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	無回答	—	—	—	—
		—	—	—	—

＜（２）企業への「申合せ」の周知方法＞

申合せを「周知した」と回答した大学（483 大学）に対し、どのような方法で企業に対し周知したのか尋ねたところ、「個別の企業に対し、「申合せ」の内容を口頭で周知した」と回答した大学が56.5%と最も多く、続いて「個別の企業に対し、「申合せ」や要請文書を手交した」（34.2%）、「個別の企業に対し、メール等で「申合せ」や要請文書を手交した」（23.3%）であった。

全体	掲「大 載「申 し「合 せ」の ホー ムペ ー ジに 要請 文書 を	し「個 合「別 せ」の た「の や「企 要「業 請「に 文「対 書「し を「手 交「交 申	文「個 書「別 を「の 送「企 付「業 した「に し「対 「し 「や 「要 「請	知「個 合「別 せ「の した「企 「業 「に 「対 「し 「口 「頭 「で 「周	手「地 交「元 した「の 「経 「済 「団 「体 「に 「対 「し 「「申 「合せ 「の 「内 「容 「を 「口 「頭 「で 「文 「書 「を	要「地 請「元 文「の 書「経 を「済 送「団 付「体 した「に 「し 「「申 「合せ 「の 「内 「容 「を 「口 「頭 「で	で「地 周「元 知「の した「経 「済 「団 「体 「に 「対 「し 「「申 「合せ 「の 「内 「容 「を 「口 「頭 「で	その他
480	86	164	112	271	3	3	40	45
	17.9%	34.2%	23.3%	56.5%	0.6%	0.6%	8.3%	9.4%

※ 「周知した」と回答した 483 大学中、無回答 3 大学



学校種別クロス集計表

	全体	大学ホームページ	個別企業・手交	個別企業・送付	個別企業・口頭	経済団体・手交	経済団体・送付	経済団体・口頭	その他	
全体	480	86	164	112	271	3	3	40	45	
		17.9%	34.2%	23.3%	56.5%	0.6%	0.6%	8.3%	9.4%	
学校種別	国立大学	74	37	37	13	36	1	2	6	4
			50.0%	50.0%	17.6%	48.6%	1.4%	2.7%	8.1%	5.4%
	公立大学	28	4	9	4	15	1	0	2	4
			14.3%	32.1%	14.3%	53.6%	3.6%	0.0%	7.1%	14.3%
	私立大学	275	32	96	65	155	1	0	22	29
			11.6%	34.9%	23.6%	56.4%	0.4%	0.0%	8.0%	10.5%
	公立短期大学	3	0	0	1	2	0	0	1	0
		0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
私立短期大学	100	13	22	29	63	0	1	9	8	
		13.0%	22.0%	29.0%	63.0%	0.0%	1.0%	9.0%	8.0%	

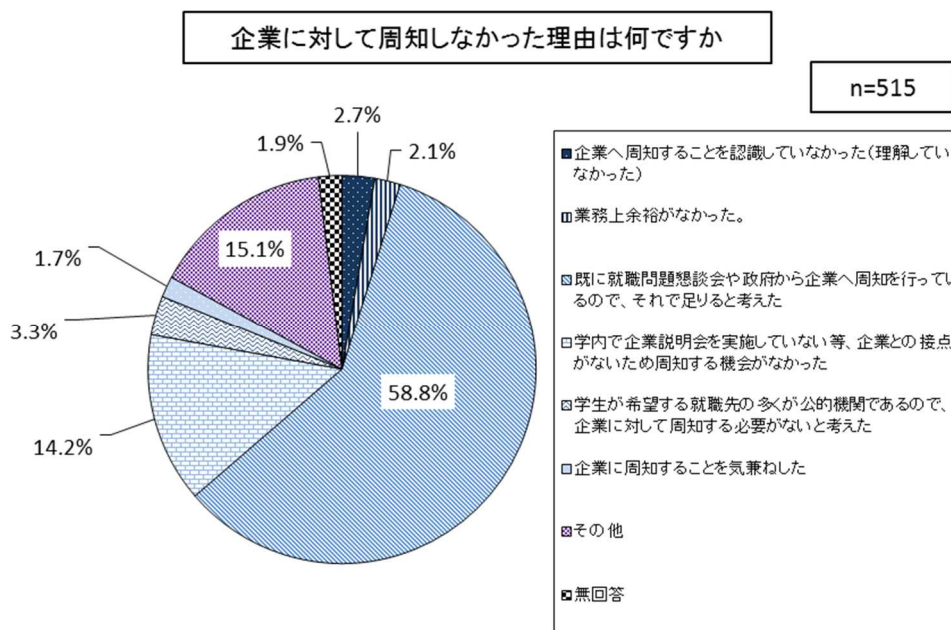
地域数別クロス集計表

	全体	大学ホームページ	個別企業・手交	個別企業・送付	個別企業・口頭	経済団体・手交	経済団体・送付	経済団体・口頭	その他	
全体	480	86	164	112	271	3	3	40	45	
		17.9%	34.2%	23.3%	56.5%	0.6%	0.6%	8.3%	9.4%	
地域	北海道・東北	54	16	23	6	31	0	0	7	11
			29.6%	42.6%	11.1%	57.4%	0.0%	0.0%	13.0%	20.4%
	関東	63	5	22	13	41	2	0	6	7
			7.9%	34.9%	20.6%	65.1%	3.2%	0.0%	9.5%	11.1%
	東京都	88	17	32	30	45	0	0	5	8
			19.3%	36.4%	34.1%	51.1%	0.0%	0.0%	5.7%	9.1%
	中部	92	15	28	25	47	1	2	7	7
			16.3%	30.4%	27.2%	51.1%	1.1%	2.2%	7.6%	7.6%
	近畿	87	12	26	20	44	0	0	3	5
			13.8%	29.9%	23.0%	50.6%	0.0%	0.0%	3.4%	5.7%
中国・四国	43	11	13	6	32	0	0	6	2	
		25.6%	30.2%	14.0%	74.4%	0.0%	0.0%	14.0%	4.7%	
九州・沖縄	53	10	20	12	31	0	1	6	5	
		18.9%	37.7%	22.6%	58.5%	0.0%	1.9%	11.3%	9.4%	

＜（３）企業に対して周知しなかった理由＞

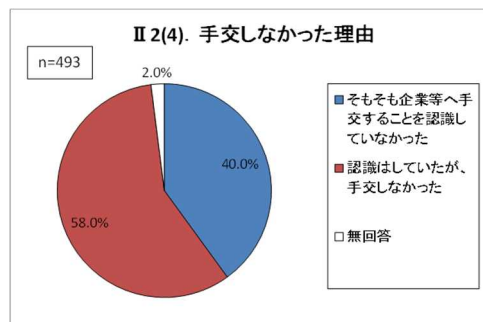
申合せを「周知していない」と回答した大学（515大学）において、周知しなかった理由を尋ねたところ、「既に就職問題懇談会や政府から企業へ周知を行っているので、それで足りると思った」と回答した大学が58.8%と最も多く、「学内で企業説明会を実施していない等、企業との接点がないため周知する機会がなかった」との回答が14.2%であった

全体	企業へ周知することを認識していなかった (理解していなかった)	業務上余裕がなかった。	既に就職問題懇談会や政府から企業へ周知を行っているので、それで足りると思った	学内で企業説明会を実施していない等、企業との接点がないため周知する機会がなかった	学生が希望する就職先の多くが公的機関であるので、企業に対して周知する必要がないと考えた	企業に周知することを気兼ねした	その他	無回答
515	14	11	303	73	17	9	78	10
100.0%	2.7%	2.1%	58.8%	14.2%	3.3%	1.7%	15.1%	1.9%



<参考：昨年度調査>企業に対して手交しなかった理由は何ですか。

「学内で企業説明会等を実施する企業等に対して直接手交などして周知していない。」と回答した大学等(493校)に、企業等に対して手交しなかった理由を伺った。※選択肢が2つのみであることに注意。



学校種別クロス集計表

	全体	認識なし	余裕なし	足りている	機会なし	多数・公的機関	気兼ねした	その他	無回答	
全体	515 100.0%	14 2.7%	11 2.1%	303 58.8%	73 14.2%	17 3.3%	9 1.7%	78 15.1%	10 1.9%	
学校種別	国立大学	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%
	公立大学	51 100.0%	1 2.0%	1 2.0%	29 56.9%	9 17.6%	2 3.9%	0 0.0%	8 15.7%	1 2.0%
	私立大学	271 100.0%	6 2.2%	9 3.3%	174 64.2%	33 12.2%	5 1.8%	5 1.8%	34 12.5%	5 1.8%
	公立短期大学	11 100.0%	1 9.1%	0 0.0%	8 72.7%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
	私立短期大学	172 100.0%	6 3.5%	1 0.6%	89 51.7%	28 16.3%	7 4.1%	4 2.3%	33 19.2%	4 2.3%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

	全体	認識なし	余裕なし	足りている	機会なし	多数・公的機関	気兼ねした	その他	無回答	
全体	515 100.0%	14 2.7%	11 2.1%	303 58.8%	73 14.2%	17 3.3%	9 1.7%	78 15.1%	10 1.9%	
地域	北海道・東北	56 100.0%	2 3.6%	3 5.4%	30 53.6%	6 10.7%	2 3.6%	3 5.4%	9 16.1%	1 1.8%
	関東	93 100.0%	4 4.3%	2 2.2%	43 46.2%	20 21.5%	3 3.2%	1 1.1%	16 17.2%	4 4.3%
	東京都	76 100.0%	2 2.6%	2 2.6%	50 65.8%	7 9.2%	1 1.3%	2 2.6%	12 15.8%	0 0.0%
	中部	81 100.0%	1 1.2%	1 1.2%	46 56.8%	10 12.3%	5 6.2%	1 1.2%	13 16.0%	4 4.9%
	近畿	103 100.0%	3 2.9%	2 1.9%	59 57.3%	16 15.5%	3 2.9%	0 0.0%	19 18.4%	1 1.0%
	中国・四国	52 100.0%	2 3.8%	0 0.0%	34 65.4%	8 15.4%	2 3.8%	2 3.8%	4 7.7%	0 0.0%
	九州・沖縄	54 100.0%	0 0.0%	1 1.9%	41 75.9%	6 11.1%	1 1.9%	0 0.0%	5 9.3%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

ii. 【時期変更に伴う大学の取組について】

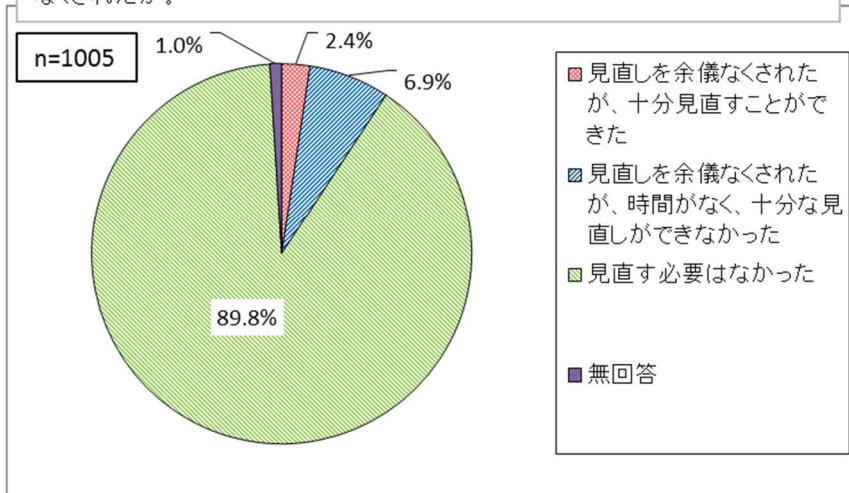
＜（１）時期変更に伴う学事日程の見直しについて＞

本年度の就職・採用活動において、採用選考活動開始時期が８月から６月に変更となったことに伴い、学事日程の見直しを余儀なくされたか尋ねたところ、「見直す必要はなかった」と回答した大学が89.8%と最も多く、続いて「見直しを余儀なくされたが、時間がなく、十分な見直しができなかった」（6.9%）、「見直しを余儀なくされたが、十分見直すことができた」（2.4%）であった。

※採用選考活動開始時期の変更は平成27年12月に発表された。

全体	見直しを余儀なくされたが、十分見直すことができた	見直しを余儀なくされたが、時間がなく、十分な見直しができなかった	見直す必要はなかった	無回答
1005	24	69	902	10
100.0%	2.4%	6.9%	89.8%	1.0%

就職活動時期の変更に伴い、「学事日程」を一部変更する等、見直しを余儀なくされたか。



学校種別クロス集計表

		全体	できた	できなかった	必要がなかった	無回答
全体		1005	24	69	902	10
		100.0%	2.4%	6.9%	89.8%	1.0%
学校種別	国立大学	86	1	3	80	2
		100.0%	1.2%	3.5%	93.0%	2.3%
	公立大学	80	0	4	74	2
		100.0%	0.0%	5.0%	92.5%	2.5%
	私立大学	552	18	40	489	5
		100.0%	3.3%	7.2%	88.6%	0.9%
	公立短期大学	14	0	0	14	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	私立短期大学	273	5	22	245	1
		100.0%	1.8%	8.1%	89.7%	0.4%
無回答		-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

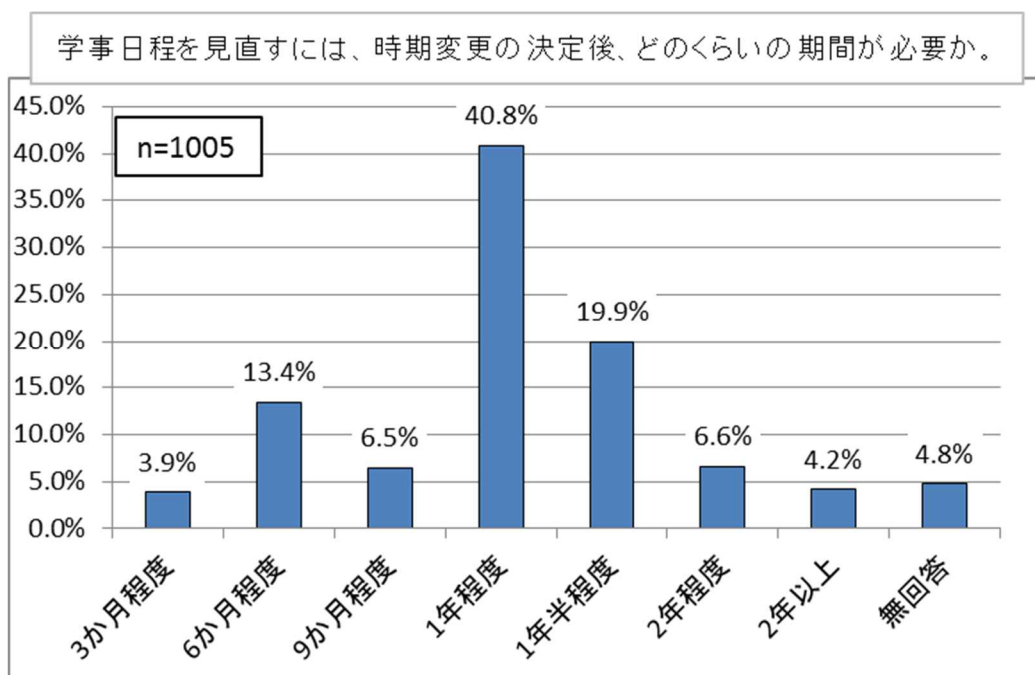
地域数別クロス集計表

		全体	できた	できなかった	必要がなかった	無回答	
全体		1005	24	69	902	10	
		100.0%	2.4%	6.9%	89.8%	1.0%	
地域	北海道・東北	112	3	8	101	0	
		100.0%	2.7%	7.1%	90.2%	0.0%	
	関東	157	4	15	136	2	
		100.0%	2.5%	9.6%	86.6%	1.3%	
	東京都	166	9	9	147	1	
		100.0%	5.4%	5.4%	88.6%	0.6%	
	中部	176	3	11	158	4	
		100.0%	1.7%	6.3%	89.8%	2.3%	
	近畿	190	1	14	174	1	
		100.0%	0.5%	7.4%	91.6%	0.5%	
	中国・四国	96	1	9	85	1	
		100.0%	1.0%	9.4%	88.5%	1.0%	
	九州・沖縄	108	3	3	101	1	
		100.0%	2.8%	2.8%	93.5%	0.9%	
	無回答		-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-

< (2) 学事日程を見直す為に時期変更の決定後の必要期間について >

学事日程を見直すにあたって、時期変更の決定後、どのくらいの期間が必要か尋ねたところ、「1年程度」(40.8%)と回答した大学が最も多く、続いて「1年半程度」(19.9%)、「6か月程度」(13.4%)であった。なお、1年程度以上必要とする回答の合計は71.5%であった。

全体	3か月程度	6か月程度	9か月程度	1年程度	1年半程度	2年程度	2年以上	無回答
1005	39	135	65	410	200	66	42	48
100.0%	3.9%	13.4%	6.5%	40.8%	19.9%	6.6%	4.2%	4.8%



学校種別クロス集計表

	全体	3 か 月 程 度	6 か 月 程 度	9 か 月 程 度	1 年 程 度	1 年 半 程 度	2 年 程 度	2 年 以 上	無 回 答	
全体	1005	39	135	65	410	200	66	42	48	
	100.0%	3.9%	13.4%	6.5%	40.8%	19.9%	6.6%	4.2%	4.8%	
学校種別	国立大学	86	1	6	7	32	13	14	7	6
		100.0%	1.2%	7.0%	8.1%	37.2%	15.1%	16.3%	8.1%	7.0%
	公立大学	80	3	14	5	31	8	8	6	5
		100.0%	3.8%	17.5%	6.3%	38.8%	10.0%	10.0%	7.5%	6.3%
	私立大学	552	16	70	31	221	132	33	21	28
		100.0%	2.9%	12.7%	5.6%	40.0%	23.9%	6.0%	3.8%	5.1%
	公立短期大学	14	0	3	1	7	1	1	1	0
		100.0%	0.0%	21.4%	7.1%	50.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%
	私立短期大学	273	19	42	21	119	46	10	7	9
		100.0%	7.0%	15.4%	7.7%	43.6%	16.8%	3.7%	2.6%	3.3%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

地域数別クロス集計表

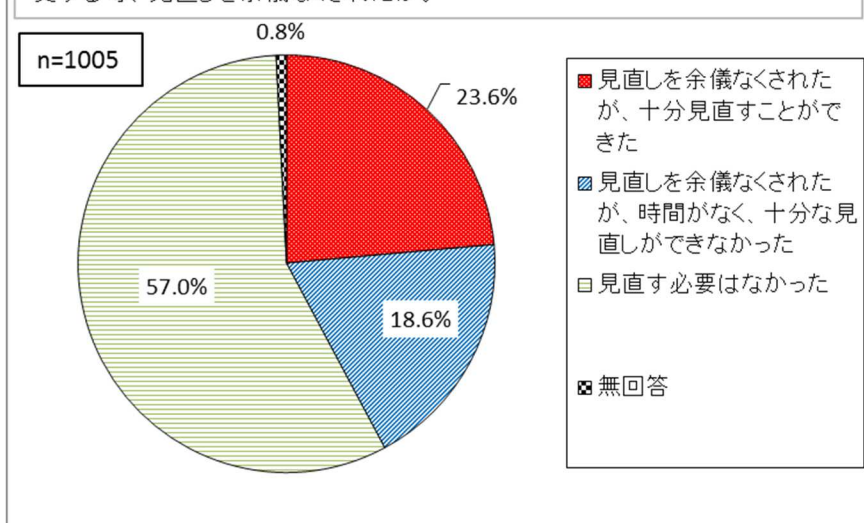
	全体	3 か 月 程 度	6 か 月 程 度	9 か 月 程 度	1 年 程 度	1 年 半 程 度	2 年 程 度	2 年 以 上	無 回 答	
全体	1005	39	135	65	410	200	66	42	48	
	100.0%	3.9%	13.4%	6.5%	40.8%	19.9%	6.6%	4.2%	4.8%	
地域	北海道・東北	112	5	20	6	45	25	7	1	3
		100.0%	4.5%	17.9%	5.4%	40.2%	22.3%	6.3%	0.9%	2.7%
	関東	157	8	28	11	61	27	10	7	5
		100.0%	5.1%	17.8%	7.0%	38.9%	17.2%	6.4%	4.5%	3.2%
	東京都	166	2	14	9	70	46	9	10	6
		100.0%	1.2%	8.4%	5.4%	42.2%	27.7%	5.4%	6.0%	3.6%
	中部	176	11	22	13	66	33	8	8	15
		100.0%	6.3%	12.5%	7.4%	37.5%	18.8%	4.5%	4.5%	8.5%
	近畿	190	7	24	15	81	32	15	8	8
		100.0%	3.7%	12.6%	7.9%	42.6%	16.8%	7.9%	4.2%	4.2%
	中国・四国	96	2	11	7	43	16	7	4	6
		100.0%	2.1%	11.5%	7.3%	44.8%	16.7%	7.3%	4.2%	6.3%
	九州・沖縄	108	4	16	4	44	21	10	4	5
		100.0%	3.7%	14.8%	3.7%	40.7%	19.4%	9.3%	3.7%	4.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

< (3) 時期変更に伴う就職担当部署の年間スケジュールの見直しについて >

本年度の就職・採用活動において、採用選考活動開始時期が8月から6月に変更となったことに伴い、就職担当部署の年間スケジュールを一部変更する等の見直しを余儀なくされたか尋ねたところ、「見直す必要はなかった」と回答した大学が57.0%と最も多く、続いて「見直しを余儀なくされたが、十分見直すことができた」(23.6%)、「見直しを余儀なくされたが、時間がなく、十分な見直しができなかった」(18.6%)であった。

全体	見直しを余儀なくされたが、十分見直すことができた	見直しを余儀なくされたが、時間がなく、十分な見直しができなかった	見直す必要はなかった	無回答
1005	237	187	573	8
100.0%	23.6%	18.6%	57.0%	0.8%

就職活動時期の変更に伴い、「就職担当部署の年間スケジュール」を一部変更する等、見直しを余儀なくされたか。



学校種別クロス集計表

		全体	できた	できなかった	必要はなかった	無回答
全体		1005	237	187	573	8
		100.0%	23.6%	18.6%	57.0%	0.8%
学校種別	国立大学	86	30	14	40	2
		100.0%	34.9%	16.3%	46.5%	2.3%
	公立大学	80	18	21	40	1
		100.0%	22.5%	26.3%	50.0%	1.3%
	私立大学	552	151	104	292	5
		100.0%	27.4%	18.8%	52.9%	0.9%
	公立短期大学	14	2	3	9	0
		100.0%	14.3%	21.4%	64.3%	0.0%
私立短期大学	273	36	45	192	0	
	100.0%	13.2%	16.5%	70.3%	0.0%	
無回答	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	

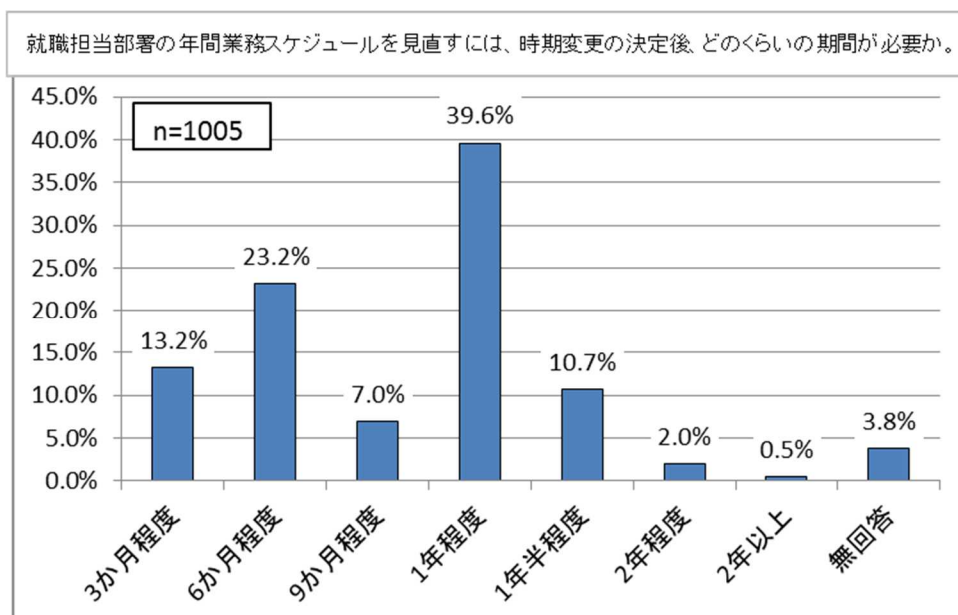
地域数別クロス集計表

		全体	できた	できなかった	必要はなかった	無回答
全体		1005	237	187	573	8
		100.0%	23.6%	18.6%	57.0%	0.8%
地域	北海道・東北	112	25	25	62	0
		100.0%	22.3%	22.3%	55.4%	0.0%
	関東	157	34	23	98	2
		100.0%	21.7%	14.6%	62.4%	1.3%
	東京都	166	53	39	73	1
		100.0%	31.9%	23.5%	44.0%	0.6%
	中部	176	41	24	107	4
		100.0%	23.3%	13.6%	60.8%	2.3%
	近畿	190	45	39	106	0
		100.0%	23.6%	20.5%	55.8%	0.0%
中国・四国	96	18	17	61	0	
	100.0%	18.8%	17.7%	63.5%	0.0%	
九州・沖縄	108	21	20	66	1	
	100.0%	19.4%	18.5%	61.1%	0.9%	
無回答	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	

< (4) 就職担当部署の年間スケジュールの見直で時期変更決定後の必要期間について >

また、就職担当部署の年間スケジュールを見直すにあたって、時期変更の決定後、どのくらいの期間が必要か尋ねたところ、「1年程度」と回答した大学が39.6%と最も多く、続いて「6か月程度」(23.2%)、「3か月程度」(13.2%)であった。

全体	3か月程度	6か月程度	9か月程度	1年程度	1年半程度	2年程度	2年以上	無回答
1005	133	233	70	398	108	20	5	38
100.0%	13.2%	23.2%	7.0%	39.6%	10.7%	2.0%	0.5%	3.8%



学校種別クロス集計表

	全体	3 か 月 程 度	6 か 月 程 度	9 か 月 程 度	1 年 程 度	1 年 半 程 度	2 年 程 度	2 年 以 上	無 回 答	
全体	1005	133	233	70	398	108	20	5	38	
	100.0%	13.2%	23.2%	7.0%	39.6%	10.7%	2.0%	0.5%	3.8%	
学校種別	国立大学	86	8	22	3	34	13	2	0	4
		100.0%	9.3%	25.6%	3.5%	39.5%	15.1%	2.3%	0.0%	4.7%
	公立大学	80	9	21	7	29	6	3	1	4
		100.0%	11.3%	26.3%	8.8%	36.3%	7.5%	3.8%	1.3%	5.0%
	私立大学	552	75	123	35	211	72	10	3	23
		100.0%	13.6%	22.3%	6.3%	38.2%	13.0%	1.8%	0.5%	4.2%
	公立短期大学	14	3	3	2	6	0	0	0	0
		100.0%	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立短期大学	273	38	64	23	118	17	5	1	7
		100.0%	13.9%	23.4%	8.4%	43.2%	6.2%	1.8%	0.4%	2.6%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

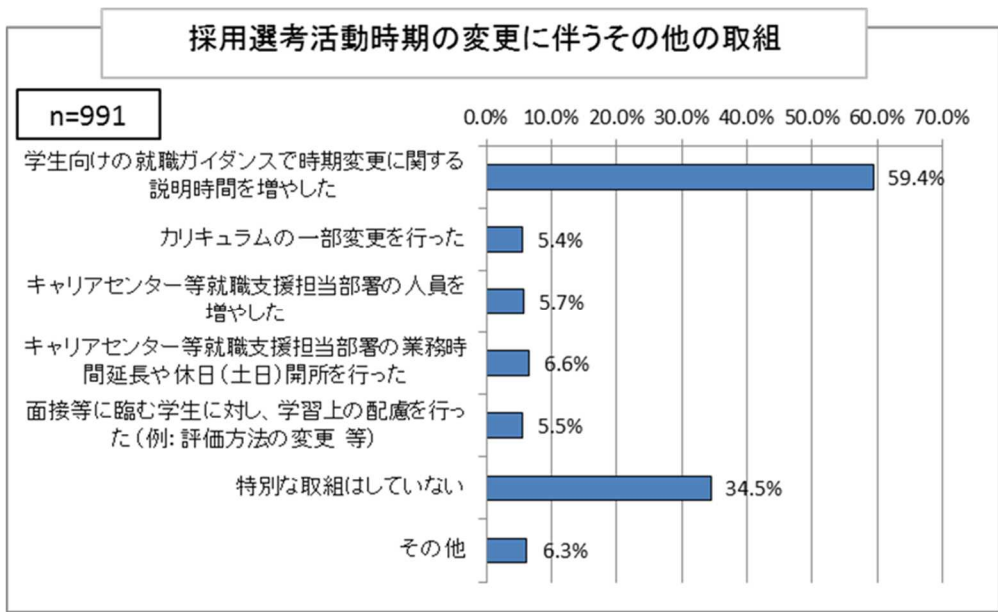
地域数別クロス集計表

	全体	3 か 月 程 度	6 か 月 程 度	9 か 月 程 度	1 年 程 度	1 年 半 程 度	2 年 程 度	2 年 以 上	無 回 答	
全体	1005	133	233	70	398	108	20	5	38	
	100.0%	13.2%	23.2%	7.0%	39.6%	10.7%	2.0%	0.5%	3.8%	
地域	北海道・東北	112	12	34	3	49	11	1	0	2
		100.0%	10.7%	30.4%	2.7%	43.8%	9.8%	0.9%	0.0%	1.8%
	関東	157	21	37	10	69	13	2	1	4
		100.0%	13.4%	23.6%	6.4%	43.9%	8.3%	1.3%	0.6%	2.5%
	東京都	166	15	33	18	61	28	4	1	6
		100.0%	9.0%	19.9%	10.8%	36.7%	16.9%	2.4%	0.6%	3.6%
	中部	176	21	32	14	73	16	5	3	12
		100.0%	11.9%	18.2%	8.0%	41.5%	9.1%	2.8%	1.7%	6.8%
	近畿	190	31	44	9	77	19	3	0	7
		100.0%	16.3%	23.2%	4.7%	40.5%	10.0%	1.6%	0.0%	3.7%
	中国・四国	96	19	20	10	33	11	1	0	2
		100.0%	19.8%	20.8%	10.4%	34.4%	11.5%	1.0%	0.0%	2.1%
	九州・沖縄	108	14	33	6	36	10	4	0	5
		100.0%	13.0%	30.6%	5.6%	33.3%	9.3%	3.7%	0.0%	4.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

< (5) 時期変更に伴い行った取組 >

本年度の就職・採用活動において、採用選考活動開始時期が8月から6月に変更となったことに伴い、その他に行った取組を尋ねたところ、「学生向けの就職ガイダンスで時期変更に関する説明時間を増やした」(59.4%)が最も多く、次いで「特別な取組はしていない」(34.5%)が多かった。

全体	学生向けの就職ガイダンスで時期変更に関する説明時間を増やした	カリキュラムの一部変更を行った	キャリアセンター等就職支援担当部署の人員を増やした	キャリアセンター等就職支援担当部署の業務時間延長や休日(土日)開所を行った	面接等に臨む学生に対し、学習上の配慮を行った(例:評価方法の変更等)	特別な取組はしていない	その他
991	589	54	56	65	55	342	62
	59.4%	5.4%	5.7%	6.6%	5.5%	34.5%	6.3%



学校種別クロス集計表

	全体	ガイダンス	変更	増員	時間延長	配慮	取組なし	その他	
全体	991	589	54	56	65	55	342	62	
		59.4%	5.4%	5.7%	6.6%	5.5%	34.5%	6.3%	
学校種別	国立大学	83	62	4	2	3	4	19	7
			74.7%	4.8%	2.4%	3.6%	4.8%	22.9%	8.4%
	公立大学	80	41	9	7	6	3	32	5
			51.3%	11.3%	8.8%	7.5%	3.8%	40.0%	6.3%
	私立大学	542	345	29	31	43	29	165	36
			63.7%	5.4%	5.7%	7.9%	5.4%	30.4%	6.6%
	公立短期大学	14	7	1	1	0	0	5	0
		50.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%	
私立短期大学	272	134	11	15	13	19	121	14	
		49.3%	4.0%	5.5%	4.8%	7.0%	44.5%	5.1%	

地域数別クロス集計表

	全体	ガイダンス	変更	増員	時間延長	配慮	取組なし	その他	
全体	991	589	54	56	65	55	342	62	
		59.4%	5.4%	5.7%	6.6%	5.5%	34.5%	6.3%	
地域	北海道・東北	112	71	5	5	5	10	32	11
			63.4%	4.5%	4.5%	4.5%	8.9%	28.6%	9.8%
	関東	155	92	9	4	10	13	54	13
			59.4%	5.8%	2.6%	6.5%	8.4%	34.4%	8.4%
	東京都	162	108	11	13	14	6	43	14
			66.7%	6.8%	8.0%	8.6%	3.7%	26.5%	8.6%
	中部	170	103	7	9	12	6	65	6
			60.6%	4.1%	5.3%	7.1%	3.5%	38.2%	3.5%
	近畿	188	107	11	16	12	8	68	8
			56.9%	5.9%	8.5%	6.4%	4.3%	36.2%	4.3%
中国・四国	96	43	3	5	7	5	43	6	
		44.8%	3.1%	5.2%	7.3%	5.2%	44.8%	6.3%	
九州・沖縄	108	65	8	4	5	7	37	4	
		60.2%	7.4%	3.7%	4.6%	6.5%	34.3%	3.7%	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	

III. 本年度の就職・採用活動の状況

i. 【本年度の卒業・修了予定者の就職・採用活動時期について】

< (1) 広報活動開始時期 >

多くの企業が広報活動を開始した時期は概ねいつ頃であったか尋ねたところ、文系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については「平成28年3月」と回答した大学が72.4%と最も多く、平成28年3月以降との回答の合計が77.9%であった。また、中小企業については「平成28年3月」と回答した大学が57.6%と最も多く、平成28年3月以降との回答の合計が65.7%であった。

理系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については、「平成28年3月」と回答した大学が55.5%と最も多く、平成28年3月以降との回答の合計が65.5%であった。また、中小企業については「平成28年3月」と回答した大学が45.1%と最も多く、平成28年3月以降との回答の合計が57.9%であった。

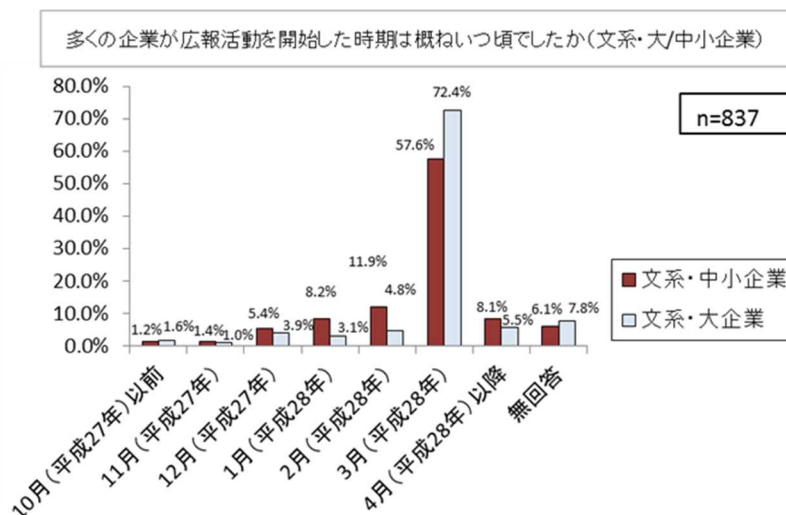
昨年度調査においては「3月」と回答した大学が62.1%と最も多く、3月以降との回答の合計が70.3%であった。

(文系・大企業)

(文系・中小企業)

全体	10月(平成27年)以前	11月(平成27年)	12月(平成27年)	1月(平成28年)	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)以降	無回答
837	13	8	33	26	40	606	46	65
100.0%	1.6%	1.0%	3.9%	3.1%	4.8%	72.4%	5.5%	7.8%

全体	10月(平成27年)以前	11月(平成27年)	12月(平成27年)	1月(平成28年)	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)以降	無回答
837	10	12	45	69	100	482	68	51
100.0%	1.2%	1.4%	5.4%	8.2%	11.9%	57.6%	8.1%	6.1%



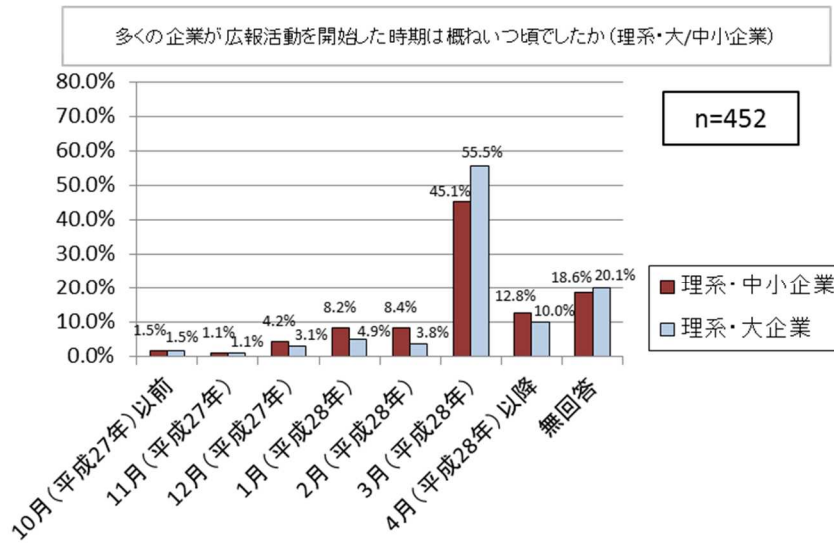
※文系の学部を設置していると回答した 837 校について集計

(理系・大企業)

全体	10月(平成27年)以前	11月(平成27年)	12月(平成27年)	1月(平成28年)	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)以降	無回答
452	7	5	14	22	17	251	45	91
100.0%	1.5%	1.1%	3.1%	4.9%	3.8%	55.5%	10.0%	20.1%

(理系・中小企業)

全体	10月(平成27年)以前	11月(平成27年)	12月(平成27年)	1月(平成28年)	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)以降	無回答
452	7	5	19	37	38	204	58	84
100.0%	1.5%	1.1%	4.2%	8.2%	8.4%	45.1%	12.8%	18.6%

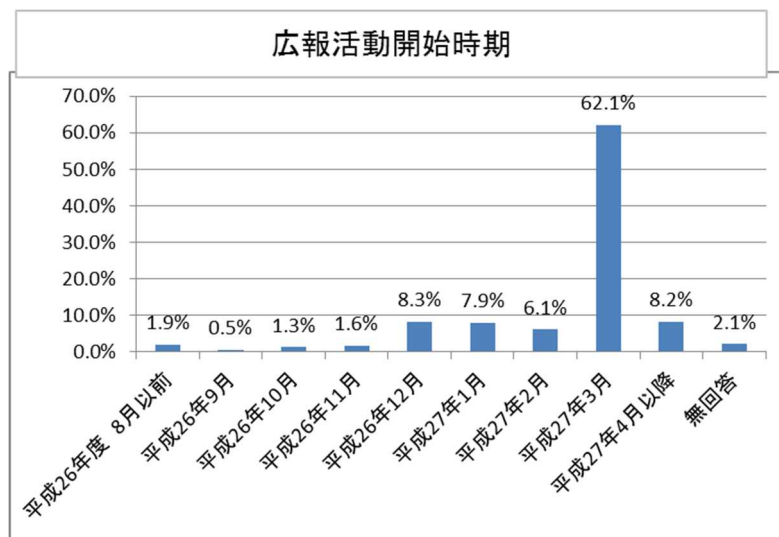


理系の学部を設置していると回答した452校について集計

<参考：昨年度調査>

採用選考活動の開始時期は概ねいつ頃でしたか。(学生の就職活動対象企業の動向について回答して下さい。)

※昨年度調査では、全体についてのみ尋ねており、文系・理系の別、企業規模(大企業・中小企業)別について尋ねていないことに注意。



学校種別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	無回答	
		(平成27年)以前	(平成27年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成28年)	(平成28年)	(平成28年)以降		
全体	837 100.0%	13 1.6%	8 1.0%	33 3.9%	26 3.1%	40 4.8%	606 72.4%	46 5.5%	65 7.8%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	2 2.9%	1 1.4%	58 84.1%	0 0.0%	5 7.2%
	公立大学	52 100.0%	1 1.9%	0 0.0%	4 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	41 78.8%	1 1.9%	5 9.6%
	私立大学	454 100.0%	9 2.0%	3 0.7%	19 4.2%	13 2.9%	24 5.3%	344 75.8%	9 2.0%	33 7.3%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	9 64.3%	3 21.4%	1 7.1%
	私立短期大学	248 100.0%	2 0.8%	4 1.6%	9 3.6%	10 4.0%	15 6.0%	154 62.1%	33 13.3%	21 8.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	無回答	
		(平成27年)以前	(平成27年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成28年)	(平成28年)	(平成28年)以降		
全体	837 100.0%	10 1.6%	12 1.0%	45 3.9%	69 3.1%	100 4.8%	482 72.4%	68 5.5%	51 7.8%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	4 5.6%	2 2.9%	54 78.3%	1 1.4%	6 8.7%
	公立大学	52 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	6 11.5%	3 5.8%	4 7.7%	31 59.6%	1 1.9%	5 9.6%
	私立大学	454 100.0%	6 1.3%	7 1.5%	29 6.4%	41 9.0%	61 13.4%	266 58.6%	16 3.5%	28 6.2%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	7 50.0%	4 28.6%	1 7.1%
	私立短期大学	248 100.0%	3 1.2%	4 1.6%	8 3.2%	21 8.5%	31 12.5%	124 50.0%	46 18.5%	11 4.4%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	10月 (平成27年) 以前	11月 (平成27年)	12月 (平成27年)	1月 (平成28年)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	7 1.5%	5 1.1%	14 3.1%	22 4.9%	17 3.8%	248 55.5%	45 10.0%	94 20.1%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	2 3.0%	2 3.0%	2 3.0%	3 4.5%	54 80.6%	0 0.0%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	3 5.2%	0 0.0%	3 5.2%	3 5.2%	2 3.4%	27 46.6%	7 12.1%	13 22.4%
	私立大学	278 101.7%	3 1.1%	3 1.1%	8 2.9%	12 4.3%	11 4.0%	147 52.9%	23 10.0%	71 25.5%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	5 10.4%	1 2.1%	19 39.6%	15 31.3%	6 12.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	10月 (平成27年) 以前	11月 (平成27年)	12月 (平成27年)	1月 (平成28年)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	453 100.0%	7 1.5%	5 1.1%	19 4.2%	37 8.2%	38 8.4%	201 45.1%	57 12.8%	89 18.6%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	6 9.0%	5 7.5%	48 71.6%	2 3.0%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	3 5.2%	0 0.0%	4 6.9%	7 12.1%	4 6.9%	21 36.2%	7 12.1%	12 20.7%
	私立大学	278 100.0%	4 1.4%	2 0.7%	10 3.6%	20 7.2%	25 9.0%	121 43.5%	29 10.4%	67 24.1%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	0 0.0%	3 6.3%	3 6.3%	4 8.3%	3 6.3%	10 20.8%	19 39.6%	6 12.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	10月 (平成27年) 以前	11月 (平成27年)	12月 (平成27年)	1月 (平成28年)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	13 1.6%	8 1.0%	33 3.9%	26 3.1%	40 4.8%	606 72.4%	46 5.5%	65 7.8%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	2 2.2%	3 3.3%	3 3.3%	3 3.3%	2 2.2%	65 70.7%	7 7.6%	
	関東	131 100.0%	1 0.8%	3 2.3%	3 2.3%	8 6.1%	5 3.8%	88 67.2%	5 3.8%	
	東京都	137 100.0%	2 1.5%	1 0.7%	3 2.2%	1 0.7%	11 8.0%	106 77.4%	2 1.5%	
	中部	143 100.0%	1 0.7%	0 0.0%	9 6.3%	4 2.8%	4 2.8%	104 72.7%	11 7.7%	
	近畿	157 100.0%	5 3.2%	1 0.6%	7 4.5%	4 2.5%	13 8.3%	112 71.3%	7 4.5%	
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.7%	3 3.4%	2 2.3%	63 72.4%	8 9.2%	
	九州・沖縄	90 100.0%	2 2.2%	0 0.0%	3 3.3%	3 3.3%	3 3.3%	68 75.6%	6 6.7%	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	10月 (平成27年) 以前	11月 (平成27年)	12月 (平成27年)	1月 (平成28年)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	10 1.2%	12 1.4%	45 5.4%	69 8.2%	100 11.9%	482 57.6%	68 8.1%	51 6.1%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	2 2.2%	2 2.2%	5 5.4%	9 9.8%	6 6.5%	49 53.3%	13 14.1%	
	関東	131 100.0%	2 1.5%	4 3.1%	6 4.6%	16 12.2%	11 8.4%	68 51.9%	10 7.6%	
	東京都	137 100.0%	2 1.5%	1 0.7%	8 5.8%	7 5.1%	26 19.0%	79 57.7%	3 2.2%	
	中部	143 100.0%	0 0.0%	1 0.7%	6 4.2%	9 6.3%	13 9.1%	101 70.6%	7 4.9%	
	近畿	157 100.0%	3 1.9%	4 2.5%	11 7.0%	14 8.9%	26 16.6%	81 51.6%	12 7.6%	
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.9%	7 8.0%	8 9.2%	52 59.8%	10 11.5%	
	九州・沖縄	90 100.0%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.3%	7 7.8%	10 11.1%	52 57.8%	13 14.4%	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	10月 (平成27年) 以前	11月 (平成27年)	12月 (平成27年)	1月 (平成28年)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	7 1.5%	5 1.1%	14 3.1%	22 4.9%	17 3.8%	248 55.5%	45 10.0%	94 20.1%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	2 3.0%	2 3.0%	2 3.0%	3 4.5%	54 80.6%	0 0.0%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	3 5.2%	0 0.0%	3 5.2%	3 5.2%	2 3.4%	27 46.6%	7 12.1%	13 22.4%
	私立大学	278 101.7%	3 1.1%	3 1.1%	8 2.9%	12 4.3%	11 4.0%	147 52.9%	23 10.0%	71 25.5%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	5 10.4%	1 2.1%	19 39.6%	15 31.3%	6 12.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	10月 (平成27年) 以前	11月 (平成27年)	12月 (平成27年)	1月 (平成28年)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	7 1.5%	5 1.1%	19 4.2%	37 8.2%	38 8.4%	204 45.1%	58 12.8%	84 18.6%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	6 11.8%	6 11.8%	24 47.1%	3 5.9%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.8%	5 8.1%	8 12.9%	16 25.8%	10 16.1%	20 32.3%
	東京都	74 100.0%	2 2.7%	2 2.7%	3 4.1%	6 8.1%	6 8.1%	38 51.4%	3 4.1%	14 18.9%
	中部	84 100.0%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	4 4.8%	6 7.1%	42 50.0%	11 13.1%	15 17.9%
	近畿	84 100.0%	2 2.4%	0 0.0%	6 7.1%	5 6.0%	6 7.1%	31 36.9%	13 15.5%	21 25.0%
	中国・四国	46 100.0%	1 2.2%	1 2.2%	2 4.3%	6 13.0%	2 4.3%	26 56.5%	7 15.2%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	5 9.8%	3 5.9%	24 47.1%	10 19.6%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

< (2) 採用選考活動開始時期 >

多くの企業が採用選考活動を開始した時期は概ねいつ頃であったか尋ねたところ、文系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については、「平成28年6月」と回答した大学が33.7%と最も多く、平成28年6月より前との回答の合計が56.7%であった。また、中小企業については「平成28年4月」と回答した大学が36.2%と最も多く、平成28年6月より前との回答の合計が77.5%であった。

理系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については、「平成28年6月」と回答した大学が24.8%と最も多く、平成28年6月より前との回答の合計が49.6%であった。また、中小企業については「平成28年4月」と回答した大学が27.9%と最も多く、平成28年6月より前との回答の合計が61.4%であった。

昨年度調査においては、「4月」と回答した大学が37.4%最も多く、8月より前との回答の合計が91.0%であった。※昨年度の採用選考活動開始時期は8月。

(文系・大企業)

全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
837	8	4	122	195	145	282	16	65
100.0%	1.0%	0.5%	14.6%	23.3%	17.3%	33.7%	1.9%	7.8%

(文系・中小企業)

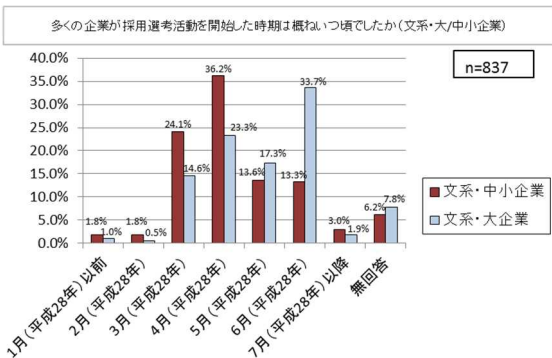
全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
837	15	15	202	303	114	111	25	52
93.8%	1.8%	1.8%	24.1%	36.2%	13.6%	13.3%	3.0%	6.2%

(理系・大企業)

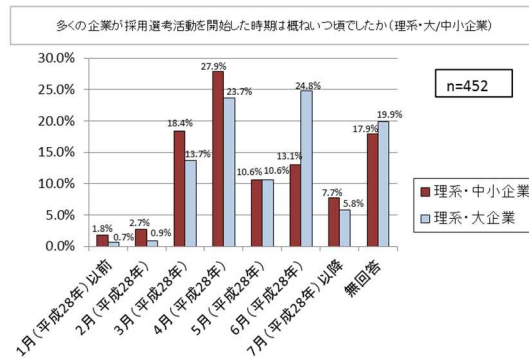
全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
452	3	4	62	107	48	112	26	90
100.0%	0.7%	0.9%	13.7%	23.7%	10.6%	24.8%	5.8%	19.9%

(理系・中小企業)

全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
452	8	12	83	126	48	59	35	81
100.0%	1.8%	2.7%	18.4%	27.9%	10.6%	13.1%	7.7%	17.9%



※文系の学部を設置していると回答した837校について集計



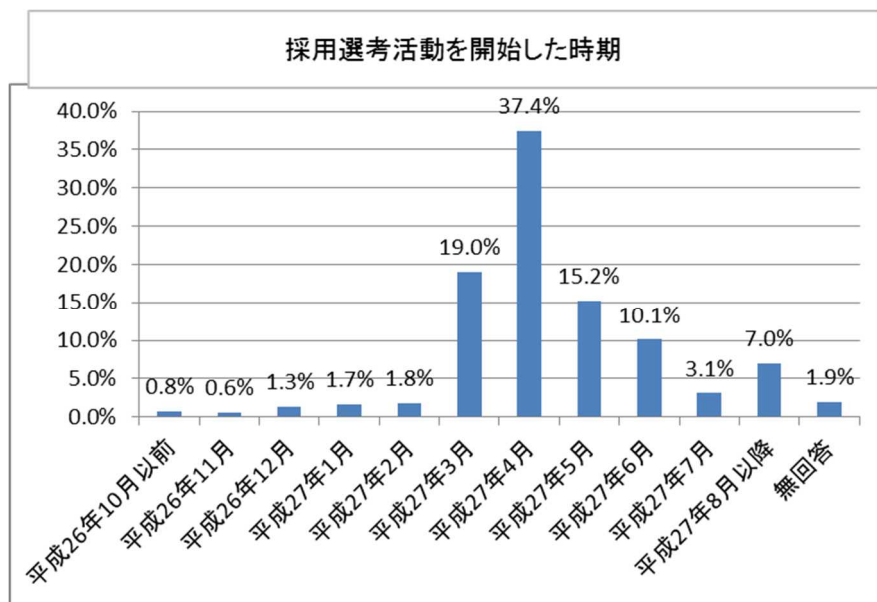
※理系の学部を設置していると回答した452校について集計

<参考：昨年度調査>

採用選考活動の開始時期は概ねいつ頃でしたか。（学生の就職活動対象企業の動向について回答して下さい。）

※昨年度調査では、文系・理系の別、企業規模（大企業・中小企業）別について尋ねていない。

※昨年度（平成27年度）は、採用選考活動開始時期が8月であったことに注意。



学校種別クロス集計表

(文系・大企業)

		全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
全体		837	8	4	122	195	145	282	16	65
		100.0%	1.0%	0.5%	14.6%	23.3%	17.3%	33.7%	1.9%	7.8%
学校種別	国立大学	69	0	0	12	18	7	27	0	5
		100.0%	0.0%	0.0%	17.4%	26.1%	10.1%	39.1%	0.0%	7.2%
	公立大学	52	0	0	12	13	5	17	0	5
		100.0%	0.0%	0.0%	23.1%	25.0%	9.6%	32.7%	0.0%	9.6%
	私立大学	454	5	2	68	117	94	130	5	33
		100.0%	1.1%	0.4%	15.0%	25.8%	20.7%	28.6%	1.1%	7.3%
	公立短期大学	14	0	0	2	3	3	5	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	14.3%	21.4%	21.4%	35.7%	0.0%	7.1%
私立短期大学	248	3	2	28	44	36	103	11	21	
	100.0%	1.2%	0.8%	11.3%	17.7%	14.5%	41.5%	4.4%	8.5%	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

		全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
全体		837	15	15	202	303	114	111	25	52
		100.0%	1.8%	1.8%	24.1%	36.2%	13.6%	13.3%	3.0%	6.2%
学校種別	国立大学	69	1	0	17	24	5	15	1	6
		100.0%	1.4%	0.0%	24.6%	34.8%	7.2%	21.7%	1.4%	8.7%
	公立大学	52	0	2	15	18	7	5	0	5
		100.0%	0.0%	3.8%	28.8%	34.6%	13.5%	9.6%	0.0%	9.6%
	私立大学	454	11	11	115	196	55	32	5	29
		100.0%	2.4%	2.4%	25.3%	43.2%	12.1%	7.0%	1.1%	6.4%
	公立短期大学	14	0	0	4	1	5	3	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7.1%	35.7%	21.4%	0.0%	7.1%
私立短期大学	248	3	2	51	64	42	56	19	11	
	100.0%	1.2%	0.8%	20.6%	25.8%	16.9%	22.6%	7.7%	4.4%	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	3 0.7%	4 0.9%	62 13.7%	107 23.7%	48 10.6%	112 24.8%	26 5.8%	90 19.9%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 19.4%	22 32.8%	9 13.4%	19 28.4%	0 0.0%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 17.2%	15 25.9%	6 10.3%	12 20.7%	3 5.2%	12 20.7%
	私立大学	278 100.0%	3 1.1%	3 1.1%	34 12.2%	63 22.7%	24 8.6%	65 23.4%	16 5.8%	70 25.2%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	5 10.4%	6 12.5%	6 12.5%	16 33.3%	7 14.6%	7 14.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	8 1.8%	12 2.7%	83 18.4%	126 27.9%	48 10.6%	59 13.1%	35 7.7%	81 17.9%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	1 1.5%	0 0.0%	17 25.4%	26 38.8%	7 10.4%	10 14.9%	2 3.0%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	1 1.7%	2 3.4%	13 22.4%	16 27.6%	8 13.8%	5 8.6%	2 3.4%	11 19.0%
	私立大学	278 100.0%	5 1.8%	8 2.9%	46 16.5%	76 27.3%	24 8.6%	32 11.5%	21 7.6%	66 23.7%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	1 2.1%	2 4.2%	5 10.4%	6 12.5%	8 16.7%	11 22.9%	9 18.8%	6 12.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	8 1.0%	4 0.5%	122 14.6%	195 23.3%	145 17.3%	282 33.7%	16 1.9%	65 7.8%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	2 2.2%	1 1.1%	15 16.3%	23 25.0%	11 12.0%	31 33.7%	1 1.1%	8 8.7%
	関東	131 100.0%	1 0.8%	0 0.0%	18 13.7%	28 21.4%	20 15.3%	42 32.1%	4 3.1%	18 13.7%
	東京都	137 100.0%	1 0.7%	2 1.5%	26 19.0%	26 19.0%	34 24.8%	37 27.0%	1 0.7%	10 7.3%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 13.3%	27 18.9%	34 23.8%	51 35.7%	2 1.4%	10 7.0%
	近畿	157 100.0%	4 2.5%	0 0.0%	26 16.6%	40 25.5%	27 17.2%	49 31.2%	3 1.9%	8 5.1%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 9.2%	27 31.0%	10 11.5%	33 37.9%	3 3.4%	6 6.9%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	10 11.1%	24 26.7%	9 10.0%	39 43.3%	2 2.2%	5 5.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	15 1.8%	15 1.8%	202 24.1%	303 36.2%	114 13.6%	111 13.3%	25 3.0%	52 6.2%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	2 2.2%	0 0.0%	21 22.8%	29 31.5%	11 12.0%	18 19.6%	5 5.4%	6 6.5%
	関東	131 100.0%	5 3.8%	1 0.8%	32 24.4%	47 35.9%	16 12.2%	11 8.4%	5 3.8%	14 10.7%
	東京都	137 100.0%	2 1.5%	6 4.4%	42 30.7%	43 31.4%	17 12.4%	15 10.9%	2 1.5%	10 7.3%
	中部	143 100.0%	2 1.4%	1 0.7%	28 19.6%	65 45.5%	26 18.2%	14 9.8%	1 0.7%	6 4.2%
	近畿	157 100.0%	4 2.5%	4 2.5%	41 26.1%	58 36.9%	18 11.5%	21 13.4%	4 2.5%	7 4.5%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	2 2.3%	20 23.0%	35 40.2%	10 11.5%	12 13.8%	4 4.6%	4 4.6%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	18 20.0%	26 28.9%	16 17.8%	20 22.2%	4 4.4%	5 5.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	3 0.7%	4 0.9%	62 13.7%	107 23.7%	48 10.6%	112 24.8%	26 5.8%	90 19.9%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	1 2.0%	1 2.0%	9 17.6%	9 17.6%	4 7.8%	17 33.3%	0 0.0%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 17.7%	11 17.7%	4 6.5%	10 16.1%	5 8.1%	21 33.9%
	東京都	74 100.0%	1 1.4%	1 1.4%	17 23.0%	22 29.7%	4 5.4%	13 17.6%	2 2.7%	14 18.9%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.7%	14 16.7%	14 16.7%	25 29.8%	5 6.0%	17 20.2%
	近畿	84 100.0%	1 1.2%	1 1.2%	8 9.5%	22 26.2%	7 8.3%	16 19.0%	7 8.3%	22 26.2%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	1 2.2%	7 15.2%	12 26.1%	8 17.4%	15 32.6%	2 4.3%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	16 31.4%	5 9.8%	16 31.4%	5 9.8%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	8 1.8%	12 2.7%	83 18.4%	126 27.9%	48 10.6%	59 13.1%	35 7.7%	81 17.9%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	1 2.0%	2 3.9%	9 17.6%	14 27.5%	6 11.8%	9 17.6%	0 0.0%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	1 1.6%	1 1.6%	15 24.2%	10 16.1%	6 9.7%	4 6.5%	5 8.1%	20 32.3%
	東京都	74 100.0%	1 1.4%	5 6.8%	23 31.1%	19 25.7%	3 4.1%	6 8.1%	4 5.4%	13 17.6%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	1 1.2%	14 16.7%	20 23.8%	14 16.7%	14 16.7%	6 7.1%	15 17.9%
	近畿	84 100.0%	3 3.6%	2 2.4%	7 8.3%	26 31.0%	7 8.3%	6 7.1%	13 15.5%	20 23.8%
	中国・四国	46 100.0%	2 4.3%	1 2.2%	9 19.6%	16 34.8%	10 21.7%	5 10.9%	2 4.3%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.8%	19 37.3%	2 3.9%	14 27.5%	4 7.8%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

< (3) 採用面接のピーク >

○多くの企業が採用面接を実施した時期のピークは概ねいつ頃であったか尋ねたところ、文系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については「平成28年6月」（53.2%）と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年5月」（21.9%）、「平成28年7月以降」（8.2%）であった。また、中小企業については「平成28年5月」（35.5%）と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年6月」（24.0%）、「平成28年4月」（19.7%）であった。

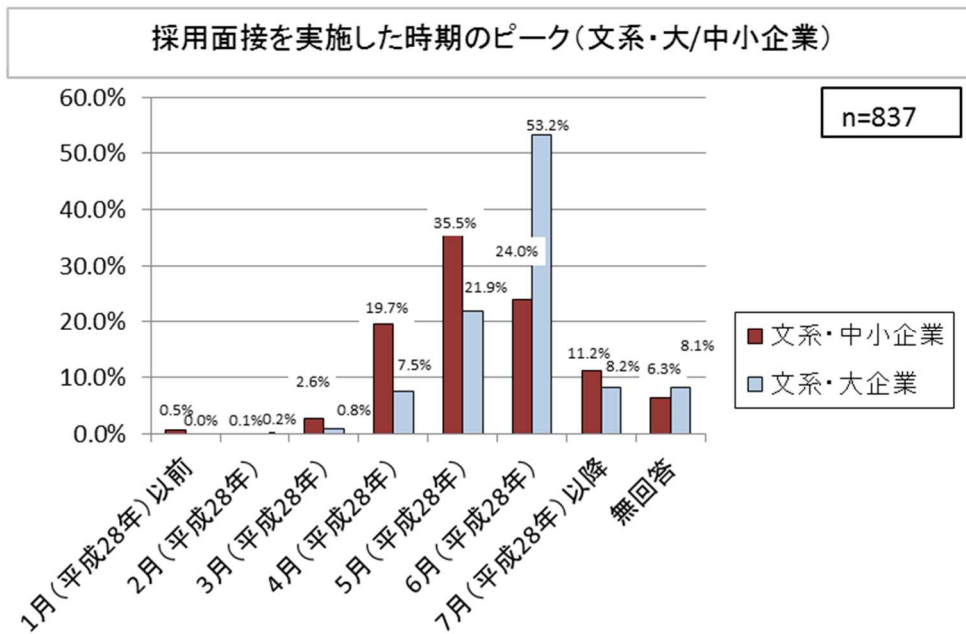
○理系の学生が就職活動をした企業のうち、大企業については「平成28年6月」（36.3%）と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年5月」（19.0%）、「平成28年7月以降」（13.7%）であった。また、中小企業については「平成28年5月」（25.4%）と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年4月」（17.9%）、「平成28年6月」「平成28年7月以降」（ともに16.8%）であった。

(文系・大企業)

(文系・中企業)

全体	1月(平成28年)以前	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)	5月(平成28年)	6月(平成28年)	7月(平成28年)以降	無回答
837	0	2	7	63	183	445	69	68
100.0%	0.0%	0.2%	0.8%	7.5%	21.9%	53.2%	8.2%	8.1%

全体	1月(平成28年)以前	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)	5月(平成28年)	6月(平成28年)	7月(平成28年)以降	無回答
837	4	1	22	165	297	201	94	53
100.0%	0.5%	0.1%	2.6%	19.7%	35.5%	24.0%	11.2%	6.3%



※文系の学部を設置していると回答した 837 校について集計

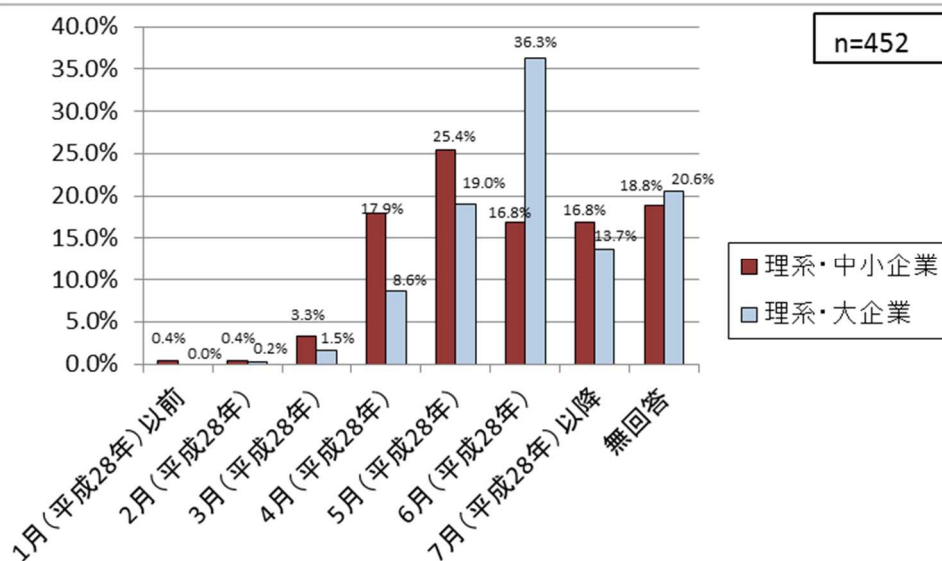
(理系・大企業)

全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
452	0	1	7	39	86	164	62	93
100.0%	0.0%	0.2%	1.5%	8.6%	19.0%	36.3%	13.7%	20.6%

(理系・中小企業)

全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
452	2	2	15	81	115	76	76	85
100.0%	0.4%	0.4%	3.3%	17.9%	25.4%	16.8%	16.8%	18.8%

採用面接を実施した時期のピーク(理系・大/中小企業)



※理系の学部を設置していると回答した 452 校について集計

学校種別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成 28年)以前	2月 (平成 28年)	3月 (平成 28年)	4月 (平成 28年)	5月 (平成 28年)	6月 (平成 28年)	7月 (平成 28年)以降	無回答	
全体	837 100.0%	0 0.0%	2 0.2%	7 0.8%	63 7.5%	183 21.9%	445 53.2%	69 8.2%	68 8.1%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.3%	17 24.6%	43 62.3%	1 1.4%	5 7.2%
	公立大学	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 13.5%	11 21.2%	28 53.8%	1 1.9%	5 9.6%
	私立大学	454 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	5 1.1%	35 7.7%	120 26.4%	245 54.0%	15 3.3%	33 7.3%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	7 50.0%	3 21.4%	1 7.1%
	私立短期大学	248 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.8%	17 6.9%	33 13.3%	122 49.2%	49 19.8%	24 9.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成 28年)以前	2月 (平成 28年)	3月 (平成 28年)	4月 (平成 28年)	5月 (平成 28年)	6月 (平成 28年)	7月 (平成 28年)以降	無回答	
全体	837 100.0%	4 0.5%	1 0.1%	22 2.6%	165 19.7%	297 35.5%	201 24.0%	94 11.2%	53 6.3%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	11 15.9%	27 39.1%	21 30.4%	3 4.3%	6 8.7%
	公立大学	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	7 13.5%	28 53.8%	9 17.3%	1 1.9%	5 9.6%
	私立大学	454 100.0%	3 0.7%	0 0.0%	16 3.5%	115 25.3%	187 41.2%	89 19.6%	16 3.5%	28 6.2%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	8 57.1%	3 21.4%	1 7.1%
	私立短期大学	248 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	4 1.6%	31 12.5%	54 21.8%	74 29.8%	71 28.6%	13 5.2%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	7 1.5%	39 8.6%	86 19.0%	164 36.3%	62 13.7%	93 20.6%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 9.0%	21 31.3%	35 52.2%	1 1.5%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.2%	12 20.7%	19 32.8%	11 19.0%	13 22.4%
	私立大学	278 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 2.2%	26 9.4%	50 18.0%	94 33.8%	31 11.2%	71 25.5%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	4 8.3%	3 6.3%	12 25.0%	19 39.6%	8 16.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	2 0.4%	2 0.4%	15 3.3%	81 17.9%	115 25.4%	76 16.8%	76 16.8%	85 18.8%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	11 16.4%	29 43.3%	17 25.4%	4 6.0%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.9%	9 15.5%	17 29.3%	6 10.3%	10 17.2%	12 20.7%
	私立大学	278 100.0%	1 0.4%	0 0.0%	7 2.5%	59 21.2%	62 22.3%	43 15.5%	40 14.4%	66 23.7%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	0 0.0%	2 4.2%	3 6.3%	2 4.2%	6 12.5%	7 14.6%	22 45.8%	6 12.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	0 0.0%	2 0.2%	7 0.8%	63 7.5%	183 21.9%	445 53.2%	69 8.2%	68 8.1%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	10 10.9%	17 18.5%	40 43.5%	14 15.2%	9 9.8%
	関東	131 100.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	9 6.9%	27 20.6%	63 48.1%	12 9.2%	19 14.5%
	東京都	137 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.2%	7 5.1%	39 28.5%	75 54.7%	3 2.2%	10 7.3%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	12 8.4%	29 20.3%	84 58.7%	6 4.2%	11 7.7%
	近畿	157 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	13 8.3%	40 25.5%	82 52.2%	12 7.6%	8 5.1%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 11.5%	15 17.2%	43 49.4%	13 14.9%	6 6.9%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	16 17.8%	58 64.4%	9 10.0%	5 5.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	4 0.5%	1 0.1%	22 2.6%	165 19.7%	297 35.5%	201 24.0%	94 11.2%	53 6.3%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 15.2%	31 33.7%	21 22.8%	20 21.7%	6 6.5%
	関東	131 100.0%	2 1.5%	0 0.0%	2 1.5%	34 26.0%	41 31.3%	21 16.0%	15 11.5%	16 12.2%
	東京都	137 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.6%	34 24.8%	50 36.5%	32 23.4%	6 4.4%	10 7.3%
	中部	143 100.0%	1 0.7%	1 0.7%	7 4.9%	28 19.6%	59 41.3%	32 22.4%	9 6.3%	6 4.2%
	近畿	157 100.0%	1 0.6%	0 0.0%	2 1.3%	32 20.4%	59 37.6%	41 26.1%	15 9.6%	7 4.5%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%	17 19.5%	30 34.5%	21 24.1%	12 13.8%	4 4.6%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.3%	6 6.7%	27 30.0%	33 36.7%	17 18.9%	4 4.4%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	7 1.5%	39 8.6%	86 19.0%	164 36.3%	62 13.7%	93 20.6%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	6 11.8%	9 17.6%	19 37.3%	4 7.8%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 8.1%	8 12.9%	19 30.6%	9 14.5%	21 33.9%
	東京都	74 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	8 10.8%	23 31.1%	22 29.7%	5 6.8%	14 18.9%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	8 9.5%	16 19.0%	28 33.3%	14 16.7%	17 20.2%
	近畿	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	4 4.8%	14 16.7%	31 36.9%	10 11.9%	24 28.6%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	5 10.9%	8 17.4%	21 45.7%	9 19.6%	2 4.3%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	8 15.7%	21 41.2%	11 21.6%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	2 0.4%	2 0.4%	15 3.3%	81 17.9%	115 25.4%	76 16.8%	76 16.8%	85 18.8%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	11 21.6%	15 29.4%	8 15.7%	6 11.8%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	1 1.6%	0 0.0%	2 3.2%	10 16.1%	11 17.7%	8 12.9%	10 16.1%	20 32.3%
	東京都	74 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.1%	21 28.4%	20 27.0%	11 14.9%	6 8.1%	13 17.6%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.0%	12 14.3%	26 31.0%	10 11.9%	16 19.0%	15 17.9%
	近畿	84 100.0%	1 1.2%	0 0.0%	3 3.6%	10 11.9%	16 19.0%	17 20.2%	16 19.0%	21 25.0%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	2 4.3%	1 2.2%	9 19.6%	13 28.3%	11 23.9%	9 19.6%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 15.7%	13 25.5%	9 17.6%	13 25.5%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

< (4) 学生が内々定を得た時期 >

多くの学生が最初に内々定を得た時期は概ねいつ頃か尋ねたところ、文系の学生が企業から内々定を得た時期は、大企業については「平成28年6月」(57.5%)と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年7月以降」(18.8%)、「平成28年5月」(10.9%)であった。また、中小企業については「平成28年6月」(32.0%)と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年5月」(29.7%)、「平成28年7月以降」(19.6%)であった。

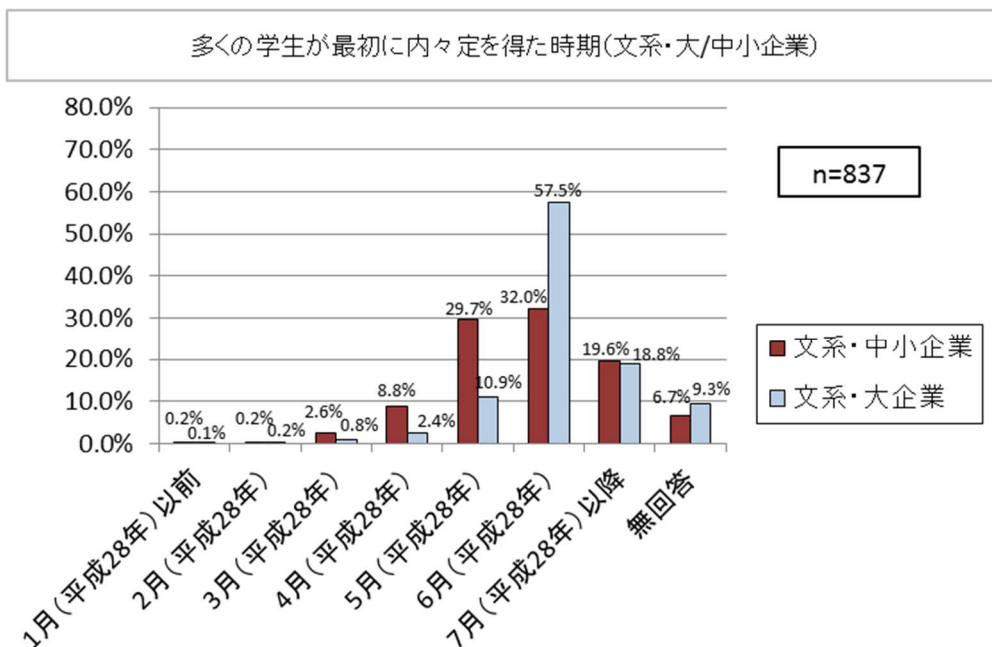
理系の学生が企業から内々定を得た時期は、大企業については「平成28年6月」(44.7%)と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年7月以降」(17.0%)、「平成28年5月」(11.9%)であった。また、中小企業については「平成28年6月」(24.8%)と回答した大学が最も多く、続いて「平成28年5月」(23.7%)、「平成28年7月以降」(20.1%)であった。

(文系・大企業)

(文系・中小企業)

全体	1月(平成28年)以前	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)	5月(平成28年)	6月(平成28年)	7月(平成28年)以降	無回答
837	1	2	7	20	91	481	157	78
100.0%	0.1%	0.2%	0.8%	2.4%	10.9%	57.5%	18.8%	9.3%

全体	1月(平成28年)以前	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)	5月(平成28年)	6月(平成28年)	7月(平成28年)以降	無回答
837	2	2	22	74	249	268	164	56
100.0%	0.2%	0.2%	2.6%	8.8%	29.7%	32.0%	19.6%	6.7%



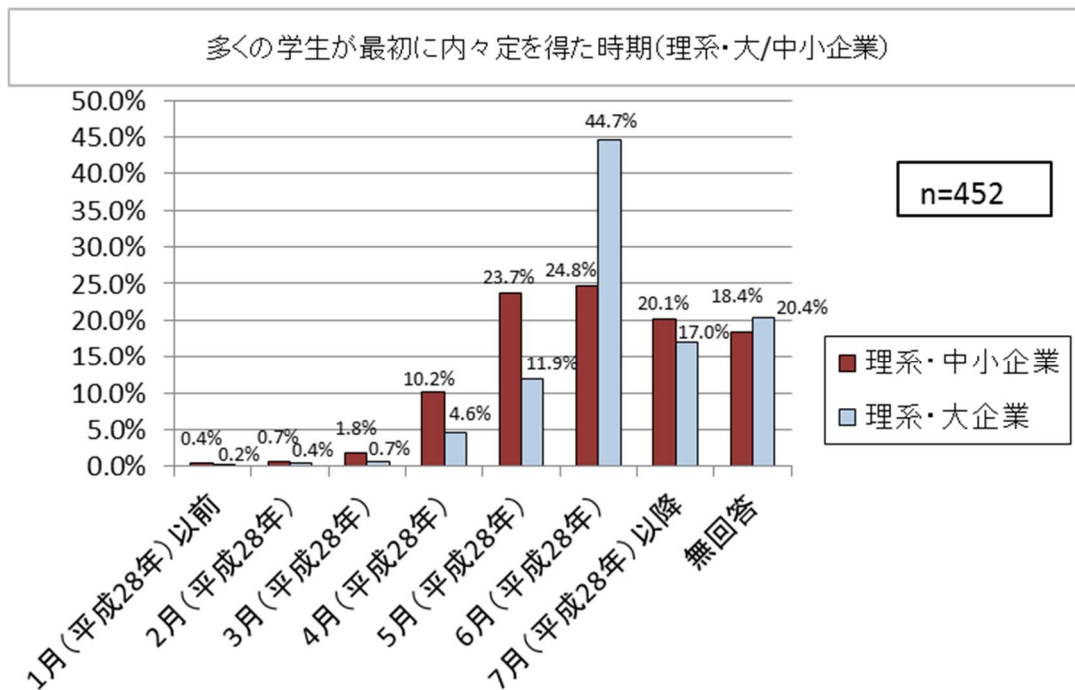
※文系の学部を設置していると回答した 837 校について集計

(理系・大企業)

全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
452	1	2	3	21	54	202	77	92
100.0%	0.2%	0.4%	0.7%	4.6%	11.9%	44.7%	17.0%	20.4%

(理系・中小企業)

全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答
452	2	3	8	46	107	112	91	83
100.0%	0.4%	0.7%	1.8%	10.2%	23.7%	24.8%	20.1%	18.4%



※理系の学部を設置していると回答した 452 校について集計

学校種別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成 28年)以前	2月 (平成 28年)	3月 (平成 28年)	4月 (平成 28年)	5月 (平成 28年)	6月 (平成 28年)	7月 (平成 28年)以降	無回答	
全体	837 100.0%	1 0.1%	2 0.2%	7 0.8%	20 2.4%	91 10.9%	481 57.5%	157 18.8%	78 9.3%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	8 11.6%	49 71.0%	3 4.3%	5 7.2%
	公立大学	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 13.5%	37 71.2%	4 7.7%	4 7.7%
	私立大学	454 100.0%	1 0.2%	2 0.4%	5 1.1%	11 2.4%	57 12.6%	274 60.4%	66 14.5%	38 8.4%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	7 50.0%	5 35.7%	1 7.1%
	私立短期大学	248 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	5 2.0%	19 7.7%	114 46.0%	79 31.9%	30 12.1%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成 28年)以前	2月 (平成 28年)	3月 (平成 28年)	4月 (平成 28年)	5月 (平成 28年)	6月 (平成 28年)	7月 (平成 28年)以降	無回答	
全体	837 100.0%	2 0.2%	2 0.2%	22 2.6%	74 8.8%	249 29.7%	268 32.0%	164 19.6%	56 6.7%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	7 10.1%	23 33.3%	26 37.7%	6 8.7%	6 8.7%
	公立大学	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	4 7.7%	19 36.5%	15 28.8%	9 17.3%	4 7.7%
	私立大学	454 100.0%	2 0.4%	2 0.4%	13 2.9%	50 11.0%	166 36.6%	146 32.2%	46 10.1%	29 6.4%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	8 57.1%	1 7.1%
	私立短期大学	248 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 2.8%	11 4.4%	40 16.1%	79 31.9%	95 38.3%	16 6.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	1 0.2%	2 0.4%	3 0.7%	21 4.6%	54 11.9%	202 44.7%	77 17.0%	92 20.4%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.0%	8 11.9%	50 74.6%	1 1.5%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	8 13.8%	24 41.4%	13 22.4%	12 20.7%
	私立大学	278 100.0%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.7%	16 5.8%	35 12.6%	112 40.3%	41 14.7%	70 25.2%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	3 6.3%	13 27.1%	21 43.8%	9 18.8%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	2 0.4%	3 0.7%	8 1.8%	46 10.2%	107 23.7%	112 24.8%	91 20.1%	83 18.4%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	8 11.9%	20 29.9%	31 46.3%	3 4.5%	4 6.0%
	公立大学	58 100.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	5 8.6%	20 34.5%	9 15.5%	13 22.4%	10 17.2%
	私立大学	278 100.0%	2 0.7%	0 0.0%	5 1.8%	30 10.8%	63 22.7%	60 21.6%	52 18.7%	66 23.7%
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	私立短期大学	48 100.0%	0 0.0%	2 4.2%	2 4.2%	3 6.3%	4 8.3%	9 18.8%	22 45.8%	6 12.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	1 0.1%	2 0.2%	7 0.8%	20 2.4%	91 10.9%	481 57.5%	157 18.8%	78 9.3%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	4 4.3%	55 59.8%	19 20.7%	11 12.0%
	関東	131 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.5%	3 2.3%	10 7.6%	72 55.0%	24 18.3%	20 15.3%
	東京都	137 100.0%	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	6 4.4%	18 13.1%	80 58.4%	20 14.6%	11 8.0%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.1%	23 16.1%	78 54.5%	27 18.9%	11 7.7%
	近畿	157 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.3%	3 1.9%	22 14.0%	92 58.6%	26 16.6%	11 7.0%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%	9 10.3%	49 56.3%	17 19.5%	9 10.3%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	5 5.6%	55 61.1%	24 26.7%	5 5.6%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	837 100.0%	2 0.2%	2 0.2%	22 2.6%	74 8.8%	249 29.7%	268 32.0%	164 19.6%	56 6.7%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	3 3.3%	19 20.7%	35 38.0%	26 28.3%	7 7.6%
	関東	131 100.0%	1 0.8%	1 0.8%	6 4.6%	10 7.6%	35 26.7%	39 29.8%	24 18.3%	15 11.5%
	東京都	137 100.0%	1 0.7%	1 0.7%	4 2.9%	13 9.5%	46 33.6%	40 29.2%	22 16.1%	10 7.3%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.1%	17 11.9%	52 36.4%	40 28.0%	25 17.5%	6 4.2%
	近畿	157 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.9%	17 10.8%	58 36.9%	47 29.9%	23 14.6%	9 5.7%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.4%	9 10.3%	23 26.4%	25 28.7%	21 24.1%	6 6.9%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.6%	16 17.8%	42 46.7%	23 25.6%	3 3.3%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	1 0.2%	2 0.4%	3 0.7%	21 4.6%	54 11.9%	202 44.7%	77 17.0%	92 20.4%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	6 11.8%	6 11.8%	22 43.1%	6 11.8%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	3 4.8%	7 11.3%	20 32.3%	10 16.1%	21 33.9%
	東京都	74 100.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.1%	14 18.9%	35 47.3%	7 9.5%	14 18.9%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	9 10.7%	35 41.7%	19 22.6%	18 21.4%
	近畿	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	12 14.3%	38 45.2%	10 11.9%	22 26.2%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	1 2.2%	1 2.2%	4 8.7%	5 10.9%	20 43.5%	13 28.3%	2 4.3%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	29 56.9%	12 23.5%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	無回答	
全体	452 100.0%	2 0.4%	3 0.7%	8 1.8%	46 10.2%	107 23.7%	112 24.8%	91 20.1%	83 18.4%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	5 9.8%	10 19.6%	16 31.4%	9 17.6%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%	10 16.1%	10 16.1%	9 14.5%	11 17.7%	20 32.3%
	東京都	74 100.0%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	11 14.9%	20 27.0%	18 24.3%	11 14.9%	13 17.6%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%	3 3.6%	23 27.4%	21 25.0%	18 21.4%	15 17.9%
	近畿	84 100.0%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	7 8.3%	20 23.8%	19 22.6%	16 19.0%	20 23.8%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	3 6.5%	0 0.0%	8 17.4%	10 21.7%	12 26.1%	12 26.1%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	14 27.5%	14 27.5%	14 27.5%	7 13.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＜（５）学生が就職活動を終了した時期＞

多くの学生が就職活動を終了した時期は概ねいつ頃か尋ねたところ、文系の学生が就職活動を終了した時期は、大企業については「継続中」（４７．４％）と回答した大学が最も多く、続いて「平成２８年７月」（２７．７％）、「平成２８年６月」（１６．４％）であった。また、中小企業については「継続中」（７５．４％）と回答した大学が最も多く、続いて「平成２８年７月」（１１．８％）、「平成２８年６月」（５．７％）であった。

理系の学生が就職活動を終了した時期は、大企業については「継続中」（３６．１％）と回答した大学が最も多く、続いて「平成２８年６月」（２２．６％）、「平成２８年７月」（１９．７％）であった。また中小企業については「継続中」（５４．９％）と回答した大学が最も多く、続いて「平成２８年７月」（１２．８％）、「平成２８年６月」（１１．９％）であった。

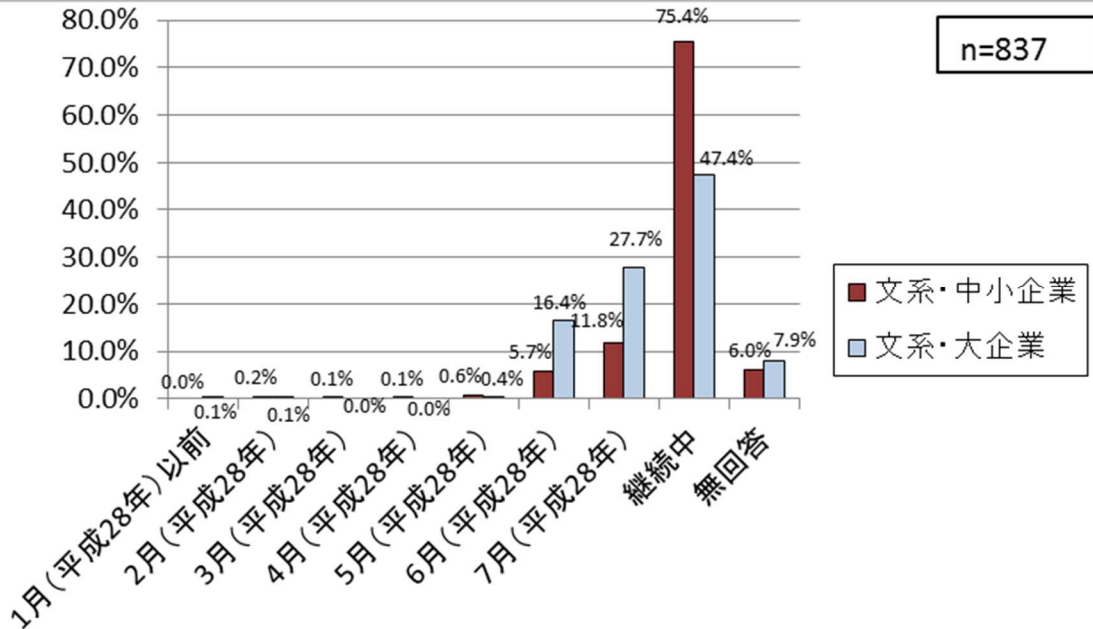
（文系・大企業）

全体	1月 (平成28年以前)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年)	継続中	無回答
837	1	1	0	0	3	137	232	397	66
100.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.4%	16.4%	27.7%	47.4%	7.9%

（文系・中小企業）

全体	1月 (平成28年以前)	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年)	継続中	無回答
837	0	2	1	1	5	48	99	631	50
100.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.6%	5.7%	11.8%	75.4%	6.0%

多くの学生が就職活動を終了した時期は概ねいつ頃ですか(文系・大/中小企業)



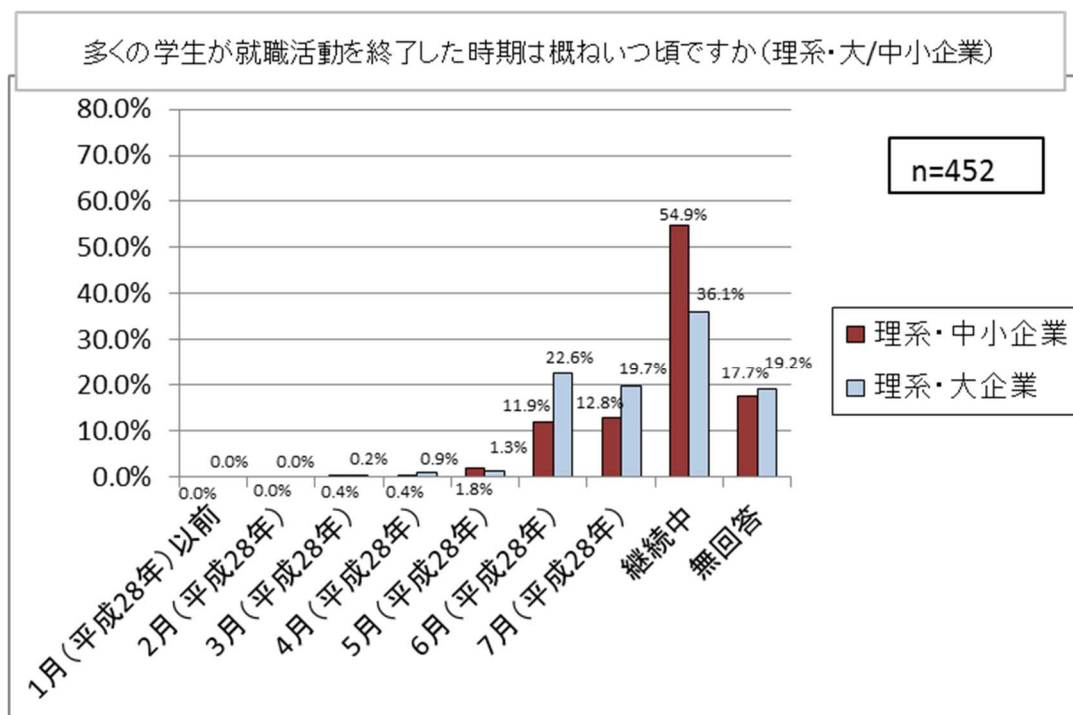
※文系の学部を設置していると回答した 837 校について集計

(理系・大企業)

全体	1月(平成28年)以前	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)	5月(平成28年)	6月(平成28年)	7月(平成28年)	継続中	無回答
452	0	0	1	4	6	102	89	163	87
100.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.9%	1.3%	22.6%	19.7%	36.1%	19.2%

(理系・中小企業)

全体	1月(平成28年)以前	2月(平成28年)	3月(平成28年)	4月(平成28年)	5月(平成28年)	6月(平成28年)	7月(平成28年)	継続中	無回答
452	0	0	2	2	8	54	58	248	80
100.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	1.8%	11.9%	12.8%	54.9%	17.7%



※理系の学部を設置していると回答した 452 校について集計

学校種別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	継続	無回答	
全体	837 100.0%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.4%	137 16.4%	232 27.7%	397 47.4%	66 7.9%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	28 40.6%	25 36.2%	10 14.5%	5 7.2%	
	公立大学	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 25.0%	21 40.4%	14 26.9%	4 7.7%	
	私立大学	454 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	78 17.2%	139 30.6%	201 44.3%	33 7.3%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	10 71.4%	1 7.1%	
	私立短期大学	248 100.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 6.9%	45 18.1%	162 65.3%	23 9.3%	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	継続	無回答	
全体	837 100.0%	0 0.0%	2 0.2%	1 0.1%	1 0.1%	5 0.6%	48 5.7%	99 11.8%	631 75.4%	50 6.0%	
学校種別	国立大学	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.9%	15 21.7%	18 26.1%	28 40.6%	6 8.7%	
	公立大学	52 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	4 7.7%	14 26.9%	29 55.8%	4 7.7%	
	私立大学	454 100.0%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	2 0.4%	25 5.5%	55 12.1%	343 75.6%	27 5.9%
	公立短期大学	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	12 85.7%	1 7.1%	
	私立短期大学	248 100.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	3 1.2%	12 4.8%	219 88.3%	12 4.8%	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	継続	無回答	
全体	452 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	4 0.9%	6 1.3%	102 22.6%	89 19.7%	163 36.1%	87 19.2%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	37 55.2%	18 26.9%	7 10.4%	4 6.0%	
	公立大学	58 102.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	14 24.1%	10 17.2%	21 36.2%	12 23.1%	
	私立大学	278 90.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.4%	3 1.1%	49 17.6%	51 18.3%	102 36.7%	89 15.2%	
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	私立短期大学	48 88.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	2 4.2%	8 16.7%	29 60.4%	7 2.8%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	継続	無回答	
全体	452 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	2 0.4%	8 1.8%	54 11.9%	58 12.8%	248 54.9%	80 17.7%	
学校種別	国立大学	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	1 1.5%	22 32.8%	22 32.8%	17 25.4%	4 6.0%	
	公立大学	58 102.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.9%	5 8.6%	8 13.8%	31 53.4%	10 19.2%	
	私立大学	278 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	2 0.7%	26 9.4%	25 56.8%	65 14.3%	
	公立短期大学	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	私立短期大学	48 89.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	3 6.3%	36 75.0%	6 2.4%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系・大企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	継続中	無回答	
全体	837 100.0%	1 0.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.4%	137 16.4%	232 27.7%	397 47.4%	66 7.9%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	11 12.0%	20 21.7%	51 55.4%	8 8.7%
	関東	131 100.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	18 13.7%	28 21.4%	65 49.6%	18 13.7%
	東京都	137 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 19.0%	47 34.3%	54 39.4%	10 7.3%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 16.1%	53 37.1%	56 39.2%	11 7.7%
	近畿	157 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 19.1%	35 22.3%	84 53.5%	8 5.1%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	20 23.0%	20 23.0%	39 44.8%	7 8.0%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.0%	29 32.2%	48 53.3%	4 4.4%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(文系・中小企業)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年) 以降	継続	無回答	
全体	837 100.0%	0 0.0%	2 0.2%	1 0.1%	1 0.1%	5 0.6%	48 5.7%	99 11.8%	631 75.4%	50 6.0%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	9 9.8%	73 79.3%	6 6.5%
	関東	131 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.8%	2 1.5%	8 6.1%	16 12.2%	88 67.2%	15 11.5%
	東京都	137 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 7.3%	19 13.9%	99 72.3%	9 6.6%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	8 5.6%	17 11.9%	110 76.9%	6 4.2%
	近畿	157 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.5%	17 10.8%	127 80.9%	6 3.8%
	中国・四国	87 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 9.2%	11 12.6%	63 72.4%	5 5.7%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.6%	10 11.1%	71 78.9%	3 3.3%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系・大企業)

	全体	1月 (平成 28年) 以前	2月 (平成 28年)	3月 (平成 28年)	4月 (平成 28年)	5月 (平成 28年)	6月 (平成 28年)	7月 (平成 28年) 以降	継続	無回答	
全体	452 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	4 0.9%	6 1.3%	102 22.6%	89 19.7%	163 36.1%	87 19.2%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	10 19.6%	7 13.7%	22 43.1%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	13 21.0%	8 12.9%	19 30.6%	20 32.3%
	東京都	74 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	28 37.8%	14 18.9%	17 23.0%	14 18.9%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	15 17.9%	18 21.4%	31 36.9%	17 20.2%
	近畿	63 133.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	0 0.0%	16 25.4%	17 27.0%	29 46.0%	21 33.3%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	10 21.7%	12 26.1%	20 43.5%	2 4.3%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 19.6%	11 21.6%	22 43.1%	8 15.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

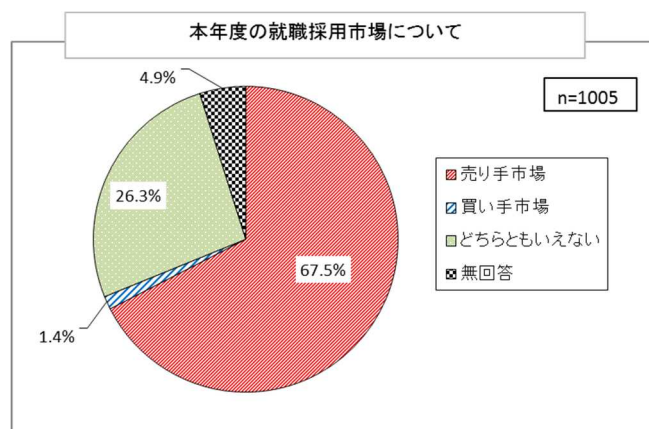
(理系・中小企業)

	全体	1月 (平成 28年) 以前	2月 (平成 28年)	3月 (平成 28年)	4月 (平成 28年)	5月 (平成 28年)	6月 (平成 28年)	7月 (平成 28年) 以降	継続中	無回答	
全体	452 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	2 0.4%	8 1.8%	54 11.9%	58 12.8%	248 54.9%	80 17.7%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	5 9.8%	7 13.7%	28 54.9%	10 19.6%
	関東	62 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	3 4.8%	7 11.3%	5 8.1%	26 41.9%	20 32.3%
	東京都	74 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	11 14.9%	10 13.5%	39 52.7%	13 17.6%
	中部	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	12 14.3%	10 11.9%	46 54.8%	15 17.9%
	近畿	84 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	7 8.3%	12 14.3%	45 53.6%	19 22.6%
	中国・四国	46 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	5 10.9%	8 17.4%	30 65.2%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	7 13.7%	6 11.8%	29 56.9%	7 13.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

< (6) 本年度の就職・採用活動の状況 >

本年度の就職採用市場について尋ねたところ、「売り手市場」67.5%、「買い手市場」1.4%、「どちらともいえない」26.3%であった。

全体	売り手市場	買い手市場	どちらともいえない	無回答
1005	678	14	264	49
100.0%	67.5%	1.4%	26.3%	4.9%



学校種別クロス集計表

		全体	売り手市場	買い手市場	どちらともいえない	無回答
全体		1005	678	14	264	49
		100.0%	67.5%	1.4%	26.3%	4.9%
学校種別	国立大学	86	67	1	12	6
		100.0%	77.9%	1.2%	14.0%	7.0%
	公立大学	80	54	0	19	7
		100.0%	67.5%	0.0%	23.8%	8.8%
	私立大学	552	384	5	139	24
		100.0%	69.6%	0.9%	25.2%	4.3%
	公立短期大学	14	6	0	7	1
		100.0%	42.9%	0.0%	50.0%	7.1%
	私立短期大学	273	167	8	87	11
	100.0%	61.2%	2.9%	31.9%	4.0%	
	無回答	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

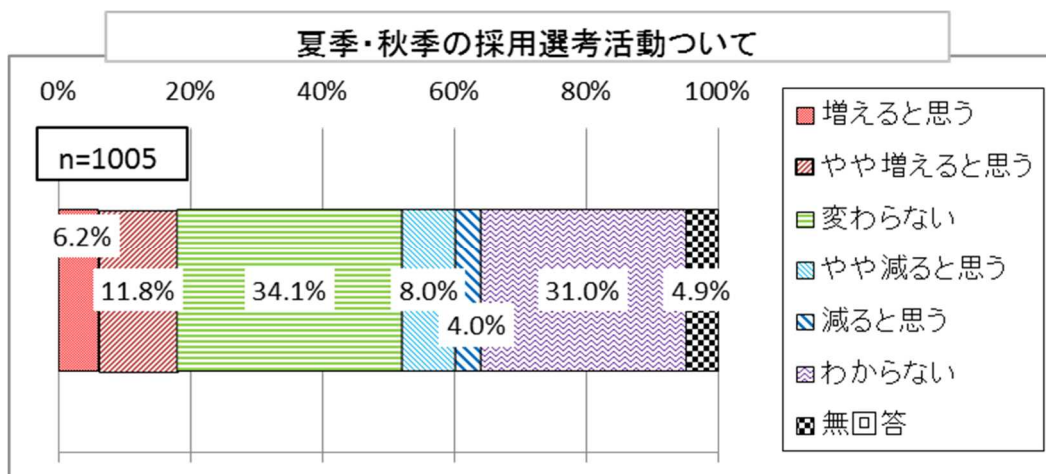
地域数別クロス集計表

		全体	売り手市場	買い手市場	どちらともいえない	無回答
全体		1005	678	14	264	49
		100.0%	67.5%	1.4%	26.3%	4.9%
地域	北海道・東北	112	86	0	21	5
		100.0%	76.8%	0.0%	18.8%	4.5%
	関東	157	91	6	45	15
		100.0%	58.0%	3.8%	28.7%	9.6%
	東京都	166	109	0	49	8
		100.0%	65.7%	0.0%	29.5%	4.8%
	中部	176	134	3	32	7
		100.0%	76.1%	1.7%	18.2%	4.0%
	近畿	190	117	2	62	9
		100.0%	61.6%	1.1%	32.6%	4.7%
	中国・四国	96	74	0	19	3
		100.0%	77.1%	0.0%	19.8%	3.1%
	九州・沖縄	108	67	3	36	2
		100.0%	62.0%	2.8%	33.3%	1.9%
		無回答	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

< (7) 夏季・秋季の採用選考活動の状況 >

来年度以降の就職・採用活動において、夏季・秋季から開始される採用選考活動は現状より増えるか尋ねたところ、「増えると思う」「やや増えると思う」と回答した大学の合計は18.0%、「減ると思う」「やや減ると思う」と回答した大学の合計は12.0%であった。

全体	増えると思う	やや増えると思う	変わらない	やや減ると思う	減ると思う	わからない	無回答
1005	62	119	343	80	40	312	49
100.0%	6.2%	11.8%	34.1%	8.0%	4.0%	31.0%	4.9%



学校種別クロス集計表

	全体	増える	やや増える	変わらない	やや減る	減る	わからない	無回答	
全体	1005	62	119	343	80	40	312	49	
	100.0%	6.2%	11.8%	34.1%	8.0%	4.0%	31.0%	4.9%	
学校種別	国立大学	86	2	11	24	6	1	37	5
		100.0%	2.3%	12.8%	27.9%	7.0%	1.2%	43.0%	5.8%
	公立大学	80	5	9	20	6	4	29	7
		100.0%	6.3%	11.3%	25.0%	7.5%	5.0%	36.3%	8.8%
	私立大学	552	35	66	195	57	26	150	23
		100.0%	6.3%	12.0%	35.3%	10.3%	4.7%	27.2%	4.2%
	公立短期大学	14	0	1	4	0	1	7	1
		100.0%	0.0%	7.1%	28.6%	0.0%	7.1%	50.0%	7.1%
	私立短期大学	273	20	32	100	11	8	89	13
	100.0%	7.3%	11.7%	36.6%	4.0%	2.9%	32.6%	4.8%	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	

地域数別クロス集計表

	全体	増える	やや増える	変わらない	やや減る	減る	わからない	無回答	
全体	1005	62	119	343	80	40	312	49	
	100.0%	6.2%	11.8%	34.1%	8.0%	4.0%	31.0%	4.9%	
地域	北海道・東北	112	8	13	40	10	5	31	5
		100.0%	7.1%	11.6%	35.7%	8.9%	4.5%	27.7%	4.5%
	関東	157	7	21	56	12	4	40	17
		100.0%	4.5%	13.4%	35.7%	7.6%	2.5%	25.5%	10.8%
	東京都	166	9	20	54	15	6	54	8
		100.0%	5.4%	12.0%	32.5%	9.0%	3.6%	32.5%	4.8%
	中部	176	12	17	66	19	5	50	7
		100.0%	6.8%	9.7%	37.5%	10.8%	2.8%	28.4%	4.0%
	近畿	190	7	19	64	13	9	70	8
		100.0%	3.7%	10.0%	33.7%	6.8%	4.7%	36.8%	4.2%
	中国・四国	96	12	13	25	6	8	30	2
		100.0%	12.5%	13.5%	26.0%	6.3%	8.3%	31.3%	2.1%
	九州・沖縄	108	7	16	38	5	3	37	2
		100.0%	6.5%	14.8%	35.2%	4.6%	2.8%	34.3%	1.9%
無回答		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	

< (8) 就職活動におけるリクルーターの状況 >

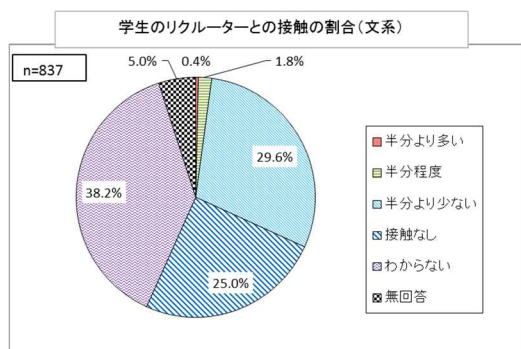
企業のいわゆる「リクルーター」と接触している学生の割合はどの程度か尋ねたところ、文系の学生では「わからない」(38.2%)と回答した大学が最も多く、続いて「半分より少ない」(29.6%)、「接触なし」(25.0%)であった。
理系の学生では、「わからない」(34.7%)と回答した大学と最も多く、続いて「半分より少ない」(28.1%)、「接触なし」(14.6%)であった。

※ここで想定するリクルーターの例：

会社からの指示により、広報や採用選考を目的として、卒業・修了予定者に接触するOB・OGなど

(文系)

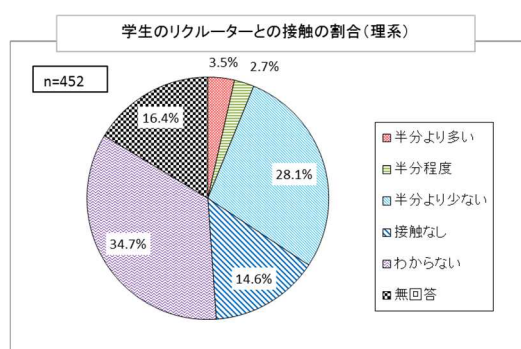
全体	半分より多い	半分程度	半分より少ない	接触なし	わからない	無回答
837	3	15	248	209	320	42
100.0%	0.4%	1.8%	29.6%	25.0%	38.2%	5.0%



※文系の学部を設置していると回答した837校について集計

(理系)

全体	半分より多い	半分程度	半分より少ない	接触なし	わからない	無回答
452	16	12	127	66	157	74
100.0%	3.5%	2.7%	28.1%	14.6%	34.7%	16.4%



※理系の学部を設置していると回答した452校について集計

学校種別クロス集計表

(文系)

		全体	半分より多い	半分程度	半分より少ない	接触なし	わからない	無回答
全体		837	3	15	248	209	320	42
		100.0%	0.4%	1.8%	29.6%	25.0%	38.2%	5.0%
学校種別	国立大学	69	1	3	24	2	36	3
		100.0%	1.4%	4.3%	34.8%	2.9%	52.2%	4.3%
	公立大学	52	0	4	21	4	20	3
		100.0%	0.0%	7.7%	40.4%	7.7%	38.5%	5.8%
	私立大学	454	0	6	153	94	176	25
		100.0%	0.0%	1.3%	33.7%	20.7%	38.8%	5.5%
	公立短期大学	14	0	1	4	1	7	1
		100.0%	0.0%	7.1%	28.6%	7.1%	50.0%	7.1%
	私立短期大学	248	2	1	46	108	81	10
	100.0%	0.8%	0.4%	18.5%	43.5%	32.7%	4.0%	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系)

		全体	半分より多い	半分程度	半分より少ない	接触なし	わからない	無回答
全体		452	16	12	127	66	157	74
		100.0%	3.5%	2.7%	28.1%	14.6%	34.7%	16.4%
学校種別	国立大学	67	6	4	27	1	25	4
		100.0%	9.0%	6.0%	40.3%	1.5%	37.3%	6.0%
	公立大学	58	1	3	16	3	26	9
		100.0%	1.7%	5.2%	27.6%	5.2%	44.8%	15.5%
	私立大学	278	9	4	78	40	92	55
		100.0%	3.2%	1.4%	28.1%	14.4%	33.1%	19.8%
	公立短期大学	1	0	0	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	私立短期大学	48	0	1	6	22	13	6
	100.0%	0.0%	2.1%	12.5%	45.8%	27.1%	12.5%	
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系)

	全体	半分より多い	半分程度	半分より少ない	接触なし	わからない	無回答	
全体	837 100.0%	3 0.4%	15 1.8%	248 29.6%	209 25.0%	320 38.2%	42 5.0%	
地域	北海道・東北	92 100.0%	1 1.1%	4 4.3%	28 30.4%	25 27.2%	29 31.5%	5 5.4%
	関東	131 100.0%	0 0.0%	2 1.5%	37 28.2%	34 26.0%	45 34.4%	13 9.9%
	東京都	137 100.0%	1 0.7%	3 2.2%	50 36.5%	24 17.5%	52 38.0%	7 5.1%
	中部	143 100.0%	0 0.0%	2 1.4%	39 27.3%	39 27.3%	59 41.3%	4 2.8%
	近畿	157 100.0%	0 0.0%	3 1.9%	39 24.8%	49 31.2%	60 38.2%	6 3.8%
	中国・四国	87 100.0%	1 1.1%	1 1.1%	30 34.5%	16 18.4%	35 40.2%	4 4.6%
	九州・沖縄	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 27.8%	22 24.4%	40 44.4%	3 3.3%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-

(理系)

	全体	増える	やや増える	変わらない	やや減る	減る	わからない	
全体	452 100.0%	16 3.5%	12 2.7%	127 28.1%	66 14.6%	157 34.7%	74 16.4%	
地域	北海道・東北	51 100.0%	1 2.0%	4 7.8%	15 29.4%	5 9.8%	17 33.3%	9 17.6%
	関東	62 100.0%	2 3.2%	1 1.6%	20 32.3%	6 9.7%	15 24.2%	18 29.0%
	東京都	74 100.0%	4 5.4%	1 1.4%	23 31.1%	9 12.2%	28 37.8%	9 12.2%
	中部	84 100.0%	5 6.0%	1 1.2%	17 20.2%	14 16.7%	32 38.1%	15 17.9%
	近畿	84 100.0%	1 1.2%	2 2.4%	22 26.2%	19 22.6%	25 29.8%	15 17.9%
	中国・四国	46 100.0%	1 2.2%	1 2.2%	16 34.8%	5 10.9%	22 47.8%	1 2.2%
	九州・沖縄	51 100.0%	2 3.9%	2 3.9%	14 27.5%	8 15.7%	18 35.3%	7 13.7%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-

＜（９）学生とリクルーターの接触時期＞

「リクルーター」と接触している学生の割合に回答（「半分より多い」又は「半分程度」又は「半分より少ない」）した大学（文系 266 大学、理系 155 大学）に対し、学生がリクルーターと接触し始めた時期を尋ねたところ、文系の学生では「平成 28 年 3 月」（29.3%）と回答した大学が最も多く、続いて「わからない」（22.6%）、「平成 28 年 4 月」（19.5%）であった。

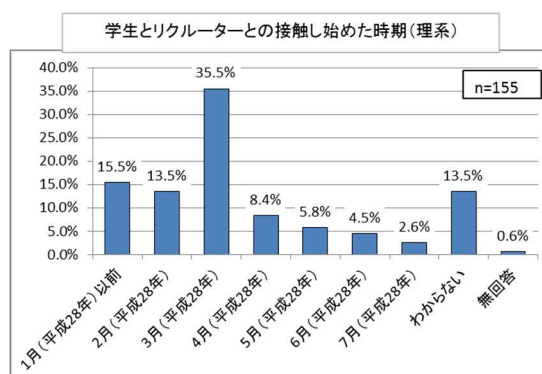
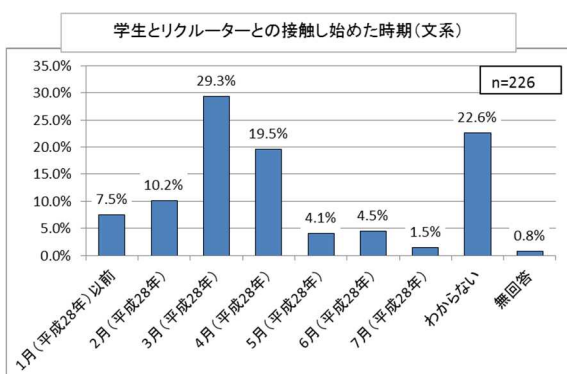
理系の学生では、「平成 28 年 3 月」（35.5%）と回答した大学が最も多く、続いて「平成 28 年 1 月以前」（15.5%）、「平成 28 年 2 月」「わからない」（ともに 13.5%）であった。

（文系）

全体	1月（平成28年以前）	2月（平成28年）	3月（平成28年）	4月（平成28年）	5月（平成28年）	6月（平成28年）	7月（平成28年）	わからない	無回答
266	20	27	78	52	11	12	4	60	2
100.0%	7.5%	10.2%	29.3%	19.5%	4.1%	4.5%	1.5%	22.6%	0.8%

（理系）

全体	1月（平成28年以前）	2月（平成28年）	3月（平成28年）	4月（平成28年）	5月（平成28年）	6月（平成28年）	7月（平成28年）	わからない	無回答
155	24	21	55	13	9	7	4	21	1
100.0%	15.5%	13.5%	35.5%	8.4%	5.8%	4.5%	2.6%	13.5%	0.6%



※「リクルーター」と接触している学生の割合に回答（「半分より多い」又は「半分程度」又は「半分より少ない」）した大学のうち文系の学部を設置していると回答した 266 校に質問

※「リクルーター」と接触している学生の割合に回答（「半分より多い」又は「半分程度」又は「半分より少ない」）した大学のうち理系の学部を設置していると回答した 155 校に質問

学校種別クロス集計表

(文系)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年)	わからない	無回答
全体	266 100.0%	20 7.5%	27 10.2%	78 29.3%	52 19.5%	11 4.1%	12 4.5%	4 1.5%	60 22.6%	2 0.8%
学校種別	国立大学	28 100.0%	2 7.1%	3 10.7%	14 50.0%	5 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.3%	0 0.0%
	公立大学	25 100.0%	4 16.0%	4 16.0%	6 24.0%	8 32.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%
	私立大学	159 99.6%	11 6.9%	18 11.3%	48 30.2%	31 19.5%	5 3.1%	5 3.1%	1 0.6%	39 24.5%
	公立短期大学	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
	私立短期大学	49 98.4%	2 4.1%	2 4.1%	10 20.4%	6 12.2%	6 12.2%	6 12.2%	3 6.1%	13 26.5%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年)	わからない	無回答
全体	155 100.0%	24 15.5%	21 13.5%	55 35.5%	13 8.4%	9 5.8%	7 4.5%	4 2.6%	21 13.5%	1 0.6%
学校種別	国立大学	38 100.0%	8 21.1%	8 21.1%	13 34.2%	2 5.3%	1 2.6%	0 0.0%	5 13.2%	1 2.6%
	公立大学	20 100.0%	3 15.0%	5 25.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	4 20.0%	0 0.0%
	私立大学	91 100.0%	13 14.3%	7 7.7%	37 40.7%	9 9.9%	7 7.7%	6 6.6%	1 1.1%	11 12.1%
	公立短期大学	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立短期大学	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

地域数別クロス集計表

(文系)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年)	わからない	無回答	
全体	266 100.0%	20 7.5%	27 10.2%	78 29.3%	52 19.5%	11 4.1%	12 4.5%	4 1.5%	60 22.6%	2 0.8%	
地域	北海道・東北	33 100.0%	4 12.1%	0 0.0%	6 18.2%	12 36.4%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	7 21.2%	0 0.0%
	関東	39 100.0%	0 0.0%	3 7.7%	8 20.5%	10 25.6%	3 7.7%	3 7.7%	0 0.0%	11 28.2%	1 2.6%
	東京都	54 100.0%	7 13.0%	9 16.7%	17 31.5%	6 11.1%	3 5.6%	3 5.6%	0 0.0%	9 16.7%	0 0.0%
	中部	41 100.0%	5 12.2%	4 9.8%	15 36.6%	8 19.5%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	7 17.1%	0 0.0%
	近畿	42 100.0%	2 4.8%	7 16.7%	12 28.6%	7 16.7%	0 0.0%	2 4.8%	2 4.8%	10 23.8%	0 0.0%
	中国・四国	32 100.0%	2 6.3%	2 6.3%	10 31.3%	5 15.6%	3 9.4%	0 0.0%	1 3.1%	8 25.0%	1 3.1%
	九州・沖縄	25 100.0%	0 0.0%	2 8.0%	10 40.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	8 32.0%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(理系)

	全体	1月 (平成28年) 以前	2月 (平成28年)	3月 (平成28年)	4月 (平成28年)	5月 (平成28年)	6月 (平成28年)	7月 (平成28年)	わからない	無回答	
全体	155 100.0%	24 15.5%	21 13.5%	55 35.5%	13 8.4%	9 5.8%	7 4.5%	4 2.6%	21 13.5%	1 0.6%	
地域	北海道・東北	20 100.0%	3 15.0%	3 15.0%	6 30.0%	3 15.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
	関東	23 100.0%	1 4.3%	5 21.7%	8 34.8%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	4 17.4%	0 0.0%
	東京都	28 100.0%	6 21.4%	3 10.7%	11 39.3%	1 3.6%	1 3.6%	0 0.0%	1 3.6%	5 17.9%	0 0.0%
	中部	23 100.0%	6 26.1%	4 17.4%	9 39.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%
	近畿	25 100.0%	2 8.0%	1 4.0%	8 32.0%	4 16.0%	3 12.0%	3 12.0%	0 0.0%	4 16.0%	0 0.0%
	中国・四国	18 100.0%	5 27.8%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%
	九州・沖縄	18 100.0%	1 5.6%	3 16.7%	11 61.1%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

IV. 就職・採用活動時期の変更による影響について

i. 【広報活動の開始時期が3月1日以降であることについて】

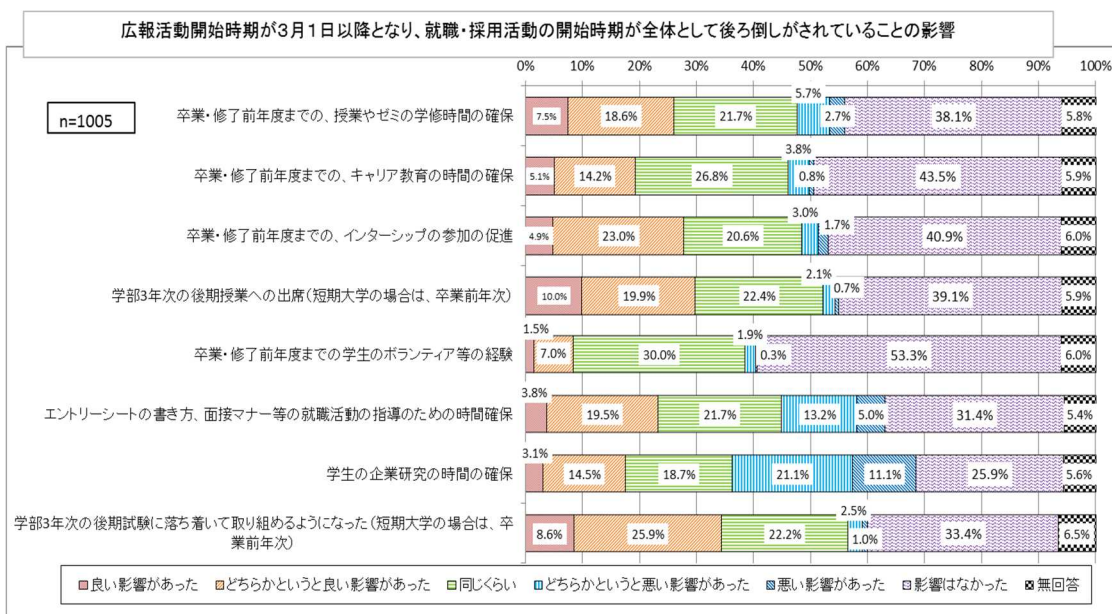
広報活動開始時期が3月1日以降となり、就職・採用活動の開始時期が全体として後ろ倒しされたことについて、どのような影響があったのか尋ねたところ、以下の項目で「良い影響があった」「どちらかというが良い影響があった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・ 学生が学部3年次の後期試験に落ち着いて取り組めるようになった。(34.5%) ※
- ・ 学部3年次の後期授業への出席(29.9%) ※
- ・ 卒業・修了前年度までの、インターンシップの参加促進(27.9%)
- ・ 卒業・修了前年度までの、授業やゼミの学修時間の確保(26.1%)

※短期大学の場合は、卒業前年次として回答。

一方で、以下の項目で「悪い影響があった」「どちらかという悪い影響があった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・ 学生の企業研究の時間の確保(32.2%)
- ・ エントリーシートの書き方、面接マナー等の就職活動の指導のための時間確保(18.2%)



※各項目ごとに一つ選択

①卒業・修了前年度までの、授業やゼミの学修時間の確保

全体	良い影響があった	良いどちらかというところ	同じくらい	悪いどちらかというところ	悪い影響があった	影響はなかった	無回答
1005	75	187	218	57	27	383	58
100.0%	7.5%	18.6%	21.7%	5.7%	2.7%	38.1%	5.8%

②卒業・修了前年度までの、キャリア教育の時間の確保

全体	良い影響があった	良いどちらかというところ	同じくらい	悪いどちらかというところ	悪い影響があった	影響はなかった	無回答
1005	51	143	269	38	8	437	59
100.0%	5.1%	14.2%	26.8%	3.8%	0.8%	43.5%	5.9%

③卒業・修了前年度までの、インターシップの参加の促進

全体	良い影響があった	良いどちらかというところ	同じくらい	悪いどちらかというところ	悪い影響があった	影響はなかった	無回答
1005	49	231	207	30	17	411	60
100.0%	4.9%	23.0%	20.6%	3.0%	1.7%	40.9%	6.0%

④学部3年次の後期授業への出席（短期大学の場合は、卒業前年次）

全体	良い影響があった	良いどちらかというところ	同じくらい	悪いどちらかというところ	悪い影響があった	影響はなかった	無回答
1005	100	200	225	21	7	393	59
100.0%	10.0%	19.9%	22.4%	2.1%	0.7%	39.1%	5.9%

⑤卒業・修了前年度までの学生のボランティア等の経験

全体	良い影響があった	どちらかかとうと 良い影響があつた	同じくらい	どちらかかとうと 悪い影響があつた	悪い影響があつた	影響はなかった	無回答
1005	15	70	302	19	3	536	60
100.0%	1.5%	7.0%	30.0%	1.9%	0.3%	53.3%	6.0%

⑥エントリーシートの書き方、面接マナー等の就職活動の指導のための時間確保

全体	良い影響があった	どちらかかとうと 良い影響があつた	同じくらい	どちらかかとうと 悪い影響があつた	悪い影響があつた	影響はなかった	無回答
1005	38	196	218	133	50	316	54
100.0%	3.8%	19.5%	21.7%	13.2%	5.0%	31.4%	5.4%

⑦学生の企業研究の時期の確保

全体	良い影響があった	どちらかかとうと 良い影響があつた	同じくらい	どちらかかとうと 悪い影響があつた	悪い影響があつた	影響はなかった	無回答
1005	31	146	188	212	112	260	56
100.0%	3.1%	14.5%	18.7%	21.1%	11.1%	25.9%	5.6%

⑧学部3年次の後期試験に落ち着いて取り組めるようになった

(短期大学の場合は、卒業前年次)

全体	良い影響があった	どちらかかとうと 良い影響があつた	同じくらい	どちらかかとうと 悪い影響があつた	悪い影響があつた	影響はなかった	無回答
1005	86	260	223	25	10	336	65
100.0%	8.6%	25.9%	22.2%	2.5%	1.0%	33.4%	6.5%

【昨年度調査】※参考として、関連部分を抜粋。

1. 就職・採用活動時期の変更による学事等への効果について（大学等からの視点）

今回の就職・採用活動時期の変更によって、学生の卒業・修了前年度の大学生活（すなわち今年度卒業・修了予定者の大学3年次又は修士1年次等）にどのような効果があったと思われますか。

(2) 卒業・修了前年度においては、就職活動による授業の欠席が減少した。

【文系】大いに思う (2.1%)、大体そう思う (14.7%)、前年度と変わらない (57.3%)、あまりそう思わない (13.7%)、全くそう思わない (2.4%)、わからない (9.4%)、無回答 (0.3%)

【理系】大いに思う (0.6%)、大体そう思う (11.7%)、前年度と変わらない (59.7%)、あまりそう思わない (10.3%)、全くそう思わない (4.9%)、わからない (12.6%)、無回答 (0.3%)

(3) 卒業・修了前年度においては、就職活動に影響されず後期試験に取り組むことができた。

【文系】大いに思う (3.4%)、大体そう思う (24.1%)、前年度と変わらない (57.0%)、あまりそう思わない (8.9%)、全くそう思わない (1.9%)、わからない (4.5%)、無回答 (0.2%)

【理系】大いに思う (2.6%)、大体そう思う (17.4%)、前年度と変わらない (60.9%)、あまりそう思わない (8.6%)、全くそう思わない (3.1%)、わからない (7.1%)、無回答 (0.3%)

(9) 卒業・修了前年度においては、将来の進路・職業選択にあたり就職活動等の準備ができた。

【文系】大いに思う (1.1%)、大体そう思う (19.0%)、前年度と変わらない (62.5%)、あまりそう思わない (13.1%)、全くそう思わない (1.8%)、わからない (2.4%)、無回答 (0.2%)

【理系】大いに思う (1.1%)、大体そう思う (13.4%)、前年度と変わらない (70.6%)、あまりそう思わない (7.1%)、全くそう思わない (4.0%)、わからない (3.7%)、無回答 (0.0%)

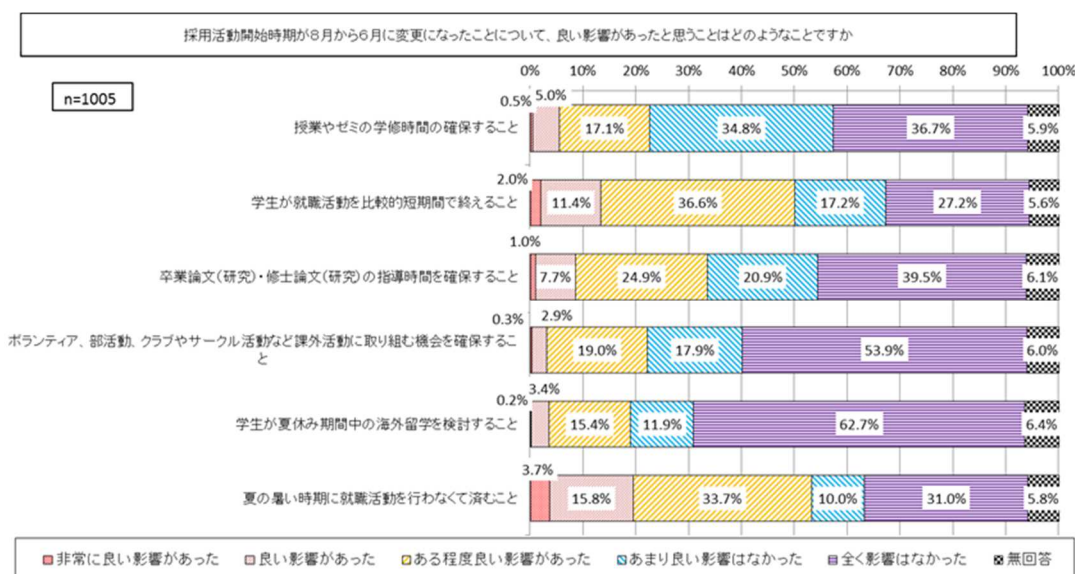
※ 学校別クロス集計表 及び 地域別クロス集計表は、「5. 巻末資料」を参照のこと

ii. 【採用選考活動の開始時期が8月から6月に変更になったことについて】

＜（１）良い影響があったと思うこと＞

○採用選考活動開始時期が8月から6月に変更になったことについて、大学への影響を尋ねたところ、以下の項目で「非常によい影響があった」「良い影響があった」「ある程度良い影響があった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済むこと（53.2%）
- ・学生が就職活動を比較的短期間で終えること（50.0%）
- ・卒業論文（研究）・修士論文（研究）の指導時間を確保すること（33.6%）



※各項目ごとに一つ選択

①卒業・修了前年度までの、授業やゼミの学修時間の確保

全体	非常に良い影響があった	良い影響があった	ある程度良い影響があった	あまり良い影響はなかった	全く影響はなかった	無回答
1005	5	50	172	350	369	59
100.0%	0.5%	5.0%	17.1%	34.8%	36.7%	5.9%

②卒業・修了前年度までの、キャリア教育の時間の確保

全体	非常に良い影響があった	良い影響があった	ある程度良い影響があった	あまり良い影響はなかった	全く影響はなかった	無回答
1005	20	115	368	173	273	56
100.0%	2.0%	11.4%	36.6%	17.2%	27.2%	5.6%

③卒業論文（研究）・修士論文（研究）の指導時間を確保すること

全体	非常に良かった	良い影響があった	ある程度良い影響があった	あまり良い影響はなかった	全く影響はなかった	無回答
1005	10	77	250	210	397	61
100.0%	1.0%	7.7%	24.9%	20.9%	39.5%	6.1%

④ボランティア、部活動、クラブやサークル活動など課外活動に取り組む機会を確保すること

全体	非常に良い	良い影響	ある程度良い影響	あまり良い影響はなかった	まったく影響なし	無回答
1005	3	29	191	180	542	60
100.0%	0.3%	2.9%	19.0%	17.9%	53.9%	6.0%

⑤学生が夏休み期間中の海外留学を検討すること

全体	非常に良い	良い影響	ある程度良い影響	あまり良い影響はなかった	まったく影響なし	無回答
1005	2	34	155	120	630	64
100.0%	0.2%	3.4%	15.4%	11.9%	62.7%	6.4%

⑥夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済むこと

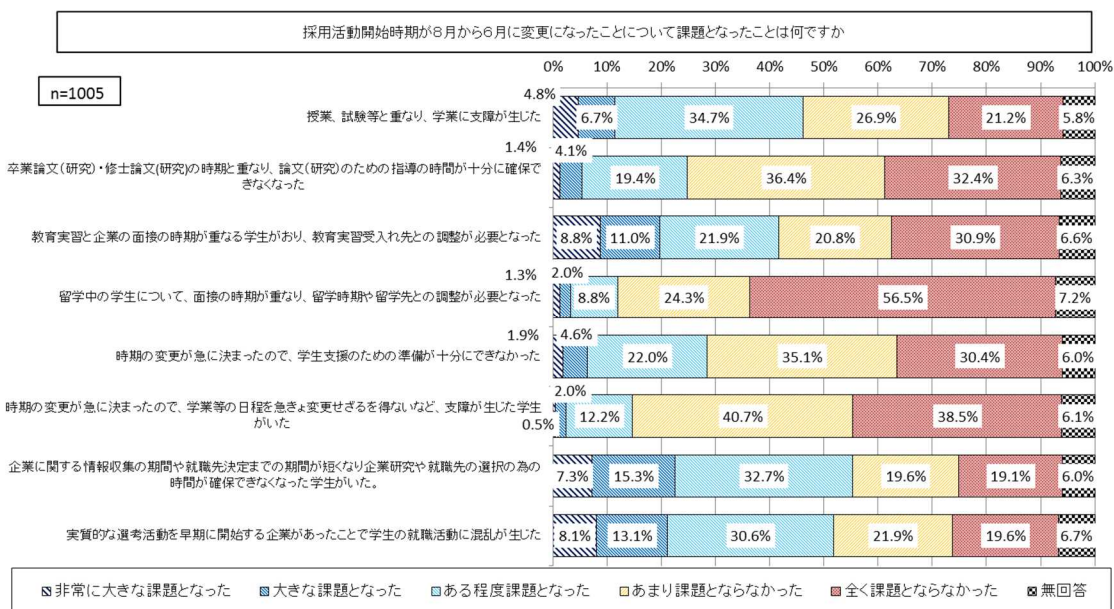
全体	非常に良い	良い影響	ある程度良い影響	あまり良い影響はなかった	まったく影響なし	無回答
1005	37	159	339	100	312	58
100.0%	3.7%	15.8%	33.7%	10.0%	31.0%	5.8%

※ 学校別クロス集計表 及び 地域別クロス集計表は、「5. 巻末資料」を参照のこと。

< (2) 課題となったこと >

採用選考活動開始時期が8月から6月に変更になったことについて、大学として課題になったことを尋ねたところ、以下の項目で「非常に大きな課題となった」「大きな課題となった」「ある程度課題となった」と回答した大学の割合が高かった。

- ・企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなくなった学生がいた（55.3%）
- ・実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで学生の就職活動に混乱が生じた（51.8%）
- ・授業、試験等と重なり、学業に支障が生じた（46.2%）
- ・教育実習と企業の面接の時期が重なる学生がおり、教育実習受入れ先との調整が必要となった（41.7%）



※各項目ごとに一つ選択

① 授業、試験等と重なり、学業に支障が生じた

全体	非常に大きな課題となった	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまり課題とならなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	48	67	349	270	213	58
100.0%	4.8%	6.7%	34.7%	26.9%	21.2%	5.8%

②卒業論文（研究）・修士論文（研究）のための指導の時間が十分にできなくなった。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまり課題とならなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	14	41	195	366	326	63
100.0%	1.4%	4.1%	19.4%	36.4%	32.4%	6.3%

③教育実習と企業の面接の時間が重なる学生がおり、養育実習受入れ先との調整が必要となった。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまり課題とならなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	88	111	220	209	311	66
100.0%	8.8%	11.0%	21.9%	20.8%	30.9%	6.6%

④留学中の学生について、面接の時期が重なり、留学時期や留学先との調整が必要となった。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまり課題とならなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	13	20	88	244	568	72
100.0%	1.3%	2.0%	8.8%	24.3%	56.5%	7.2%

⑤時間の変更が急に決まったので、学生支援のための準備が十分にできなかった。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまり課題とならなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	19	46	221	353	306	60
100.0%	1.9%	4.6%	22.0%	35.1%	30.4%	6.0%

⑥時期の変更が急に決まったので、学業等の日程を急遽変更せざるを得ないなど、支障が生じた学生がいた。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまりなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	5	20	123	409	387	61
100.0%	0.5%	2.0%	12.2%	40.7%	38.5%	6.1%

⑦企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなくなった学生がいた。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまりなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	73	154	329	197	192	60
100.0%	7.3%	15.3%	32.7%	19.6%	19.1%	6.0%

⑧実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで学生の就職活動に混乱を生じた。

全体	非常に大きくなった課題	大きな課題となった	ある程度課題となった	あまりなかった	全く課題とならなかった	無回答
1005	81	132	308	220	197	67
100.0%	8.1%	13.1%	30.6%	21.9%	19.6%	6.7%

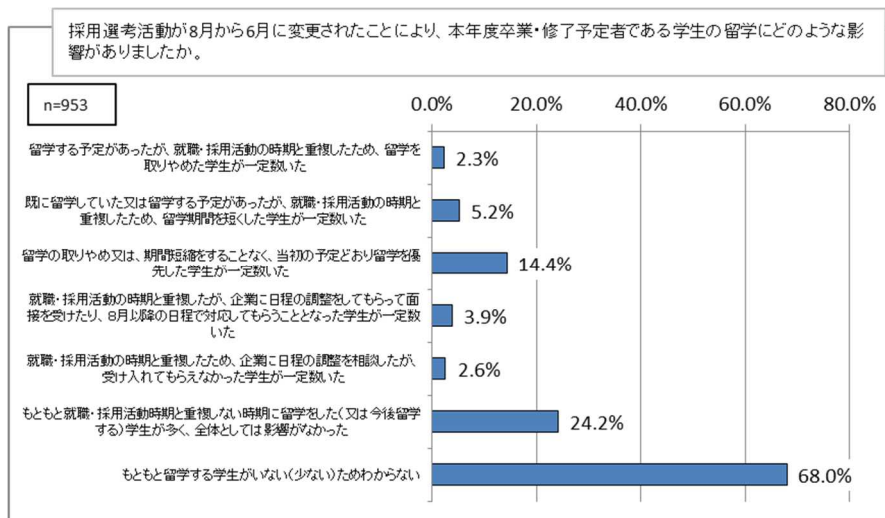
※ 学校別クロス集計表及び地域別クロス集計表は、「5. 巻末資料」を参照のこと。

iii. 【留学経験者への影響について】

採用選考活動開始時期が8月から6月に変更されたことにより、本年度卒業・修了予定者である学生の留学にどのような影響があったか尋ねたところ、「もともと留学する学生が少ない（少ない）ためわからない」と回答した大学が68.0%と最も多かった。上記を除くと、以下の回答が多かった。

- ・「もともと就職・採用活動時期と重複しない時期に留学をした（又は今後留学する）学生が多く、全体としては影響がなかった」（24.2%）
- ・「留学の取りやめ又は、期間短縮をすることなく、当初の予定どおり留学を優先した学生が一定数いた」（14.4%）
- ・「既に留学していた又は留学する予定があったが、就職・採用活動の時期と重複したため、留学期間を短くした学生が一定数いた」（5.2%）

全体	留学する予定があったが、就職・採用活動の時期と重複したため、留学を取りやめた学生が一定数いた	既に留学していた又は留学する予定があったが、就職・採用活動の時期と重複したため、留学期間を短くした学生が一定数いた	留学の取りやめ又は、期間短縮をすることなく、当初の予定どおり留学を優先した学生が一定数いた	就職・採用活動の時期と重複したが、企業に日程の調整をもらって面接を受けたり、8月以降の日程で対応してもらったこととなった学生が一定数いた	就職・採用活動の時期と重複したが、企業に日程の調整を相談したが、受け入れられなかった学生が一定数いた	もともと就職・採用活動時期と重複しない時期に留学をした（又は今後留学する）学生が多く、全体としては影響がなかった	もともと留学する学生が少ない（少ない）ためわからない
953	22	50	137	37	25	231	648
	2.3%	5.2%	14.4%	3.9%	2.6%	24.2%	68.0%



※大学全体の状況として「当てはまるもの」を最大3つ選択

※1,005校から無回答52校を除外

学校種別クロス集計表

	全体	留学を取りやめた	留学期間短縮	留学優先	企業側日程調整可	企業側日程調整不可	重複しない時期に留学	留学学生がいない	
全体	953	22 2.3%	50 5.2%	137 14.4%	37 3.9%	25 2.6%	231 24.2%	648 68.0%	
学校種別	国立大学	81 3.7%	15 18.5%	35 43.2%	11 13.6%	4 4.9%	40 49.4%	21 25.9%	
	公立大学	73 2.7%	5 6.8%	13 17.8%	4 5.5%	3 4.1%	24 32.9%	40 54.8%	
	私立大学	523 3.1%	16 5.2%	27 14.7%	77 14.7%	20 3.8%	17 3.3%	138 26.4%	345 66.0%
	公立短期大学	13 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	11 84.6%
	私立短期大学	263 0.4%	1 0.4%	3 1.1%	12 4.6%	2 0.8%	1 0.4%	27 10.3%	231 87.8%

地域数別クロス集計表

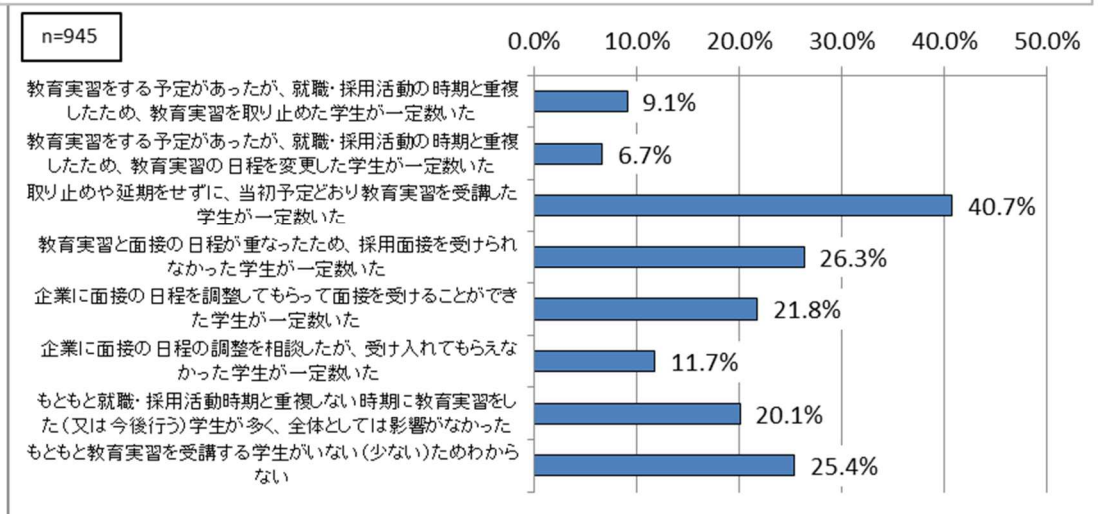
	全体	留学を取りやめた	留学期間短縮	留学優先	企業側日程調整可	企業側日程調整不可	重複しない時期に留学	留学学生がいない	
全体	953	22 2.3%	50 5.2%	137 14.4%	37 3.9%	25 2.6%	231 24.2%	648 68.0%	
地域	北海道・東北	106 0.0%	4 3.8%	7 6.6%	2 1.9%	1 0.9%	27 25.5%	78 73.6%	
	関東	142 2.1%	3 3.5%	5 9.9%	14 9.9%	2 1.4%	3 2.1%	25 17.6%	110 77.5%
	東京都	158 4.4%	7 10.8%	17 24.7%	39 24.7%	15 9.5%	11 7.0%	40 25.3%	87 55.1%
	中部	169 0.0%	0 0.0%	6 3.6%	19 11.2%	4 2.4%	4 2.4%	42 24.9%	125 74.0%
	近畿	181 4.4%	8 4.4%	13 7.2%	26 14.4%	8 4.4%	3 1.7%	41 22.7%	121 66.9%
	中国・四国	94 1.1%	1 3.2%	3 3.2%	11 11.7%	3 3.2%	2 2.1%	22 23.4%	66 70.2%
	九州・沖縄	103 2.9%	3 2.9%	2 1.9%	21 20.4%	3 2.9%	1 1.0%	34 33.0%	61 59.2%

iv. 【教育実習受講者への影響について】

採用選考活動開始時期が8月から6月に変更されたことにより、本年度卒業・修了予定者である学生の教育実習にどのような影響があったか尋ねたところ、「取り止めや延期をせずに、当初予定どおり教育実習を受講した学生が一定数いた」と回答した大学が40.7%と最も多く、続いて、「教育実習と面接の日程が重なったため、採用面接を受けられなかった学生が一定数いた」（26.3%）、「企業に面接の日程を調整してもらって面接を受けることができた学生が一定数いた」（21.8%）であった。

全体	教育実習をする予定があつたが、就職・採用活動の時期と重複したため、教育実習を取り止めた学生が一定数いた	教育実習をする予定があつたが、就職・採用活動の時期と重複したため、教育実習の日程を変更した学生が一定数いた	取り止めや延期をせずに、当初予定どおり教育実習を受講した学生が一定数いた	教育実習と面接の日程が重なったため、採用面接を受けられなかった学生が一定数いた	企業に面接の日程を調整してもらって面接を受けることができた学生が一定数いた	企業に面接の日程の調整を相談したが、受け入れてもらえなかった学生が一定数いた	もともと就職・採用活動時期と重複しない時期に教育実習をした（又は今後行う）学生が多く、全体としては影響がなかった	もともと教育実習を受講する学生が少ない（少ない）ためわからない
945	86 9.1%	63 6.7%	385 40.7%	249 26.3%	206 21.8%	111 11.7%	190 20.1%	240 25.4%

採用選考活動が8月から6月に変更されたことにより、本年度卒業・修了予定者である学生の教育実習にどのような影響がありましたか。



※大学全体の状況として「当てはまるもの」を最大3つ選択

※1,005校から無回答60校を除外

学校種別クロス集計表

	全体	教育実習取りやめ	教育実習の日程変更	予定通り	採用面接を受けられなかった	面接の日程調整可	面接の日程調整不可	重複しない影響なし	受講する学生いない
全体	945	86 9.1%	63 6.7%	385 40.7%	249 26.3%	206 21.8%	111 11.7%	190 20.1%	240 25.4%
学校種別	国立大学	80 18.8%	15 12.5%	10 55.0%	44 25.0%	20 12.5%	10 11.3%	9 33.8%	27 12.5%
	公立大学	72 12.5%	9 8.3%	6 41.7%	30 25.0%	18 19.4%	14 8.3%	6 13.9%	10 38.9%
	私立大学	522 11.1%	58 7.3%	38 46.0%	240 34.5%	180 27.8%	145 16.3%	85 11.1%	117 22.4%
	公立短期大学	13 0.0%	0 7.7%	1 30.8%	4 15.4%	2 15.4%	2 0.0%	0 15.4%	5 38.5%
	私立短期大学	258 1.6%	4 3.1%	8 26.0%	67 11.2%	29 13.6%	35 4.3%	11 36.0%	93 31.0%

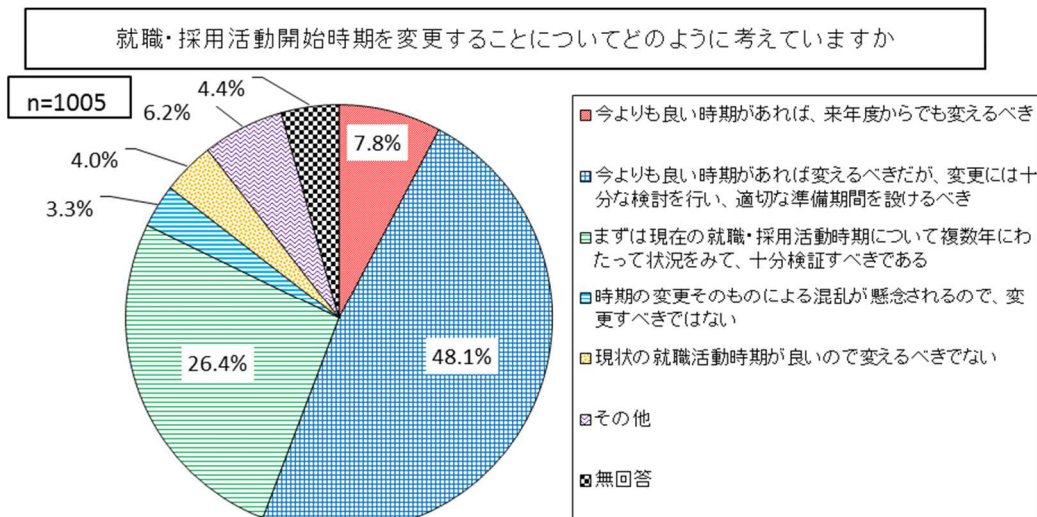
地域数別クロス集計表

	全体	教育実習取りやめ	教育実習の日程変更	予定通り	採用面接を受けられなかった	面接の日程調整可	面接の日程調整不可	重複しない影響なし	受講する学生いない	
全体	945	86 9.1%	63 6.7%	385 40.7%	249 26.3%	206 21.8%	111 11.7%	190 20.1%	240 25.4%	
地域	北海道・東北	105 5.7%	6 11.4%	12 40.0%	42 21.9%	23 25.7%	27 8.6%	9 28.6%	30 21.9%	
	関東	142 9.9%	14 2.1%	3 38.7%	55 27.5%	39 26.1%	37 14.1%	20 23.2%	32 22.5%	
	東京都	156 19.9%	31 9.0%	14 39.7%	62 39.7%	62 26.9%	42 21.8%	34 9.6%	15 23.1%	
	中部	168 4.8%	8 4.8%	8 34.5%	58 20.8%	35 17.9%	30 6.0%	10 19.6%	33 35.7%	
	近畿	178 8.4%	15 7.3%	13 45.5%	81 22.5%	40 18.0%	32 11.2%	20 19.7%	44 24.7%	
	中国・四国	92 7.6%	7 6.5%	6 44.6%	41 26.1%	24 20.7%	19 12.0%	11 25.0%	23 20.7%	
	九州・沖縄	104 4.8%	5 6.7%	7 44.2%	46 25.0%	26 18.3%	19 6.7%	7 20.2%	21 25.0%	

v. 【就職・採用活動開始時期の変更について】

就職・採用活動開始時期を変更することについてどのように考えているか尋ねたところ、「今よりも良い時期があれば変えるべきだが、変更には十分な検討を行い、適切な準備期間を設けるべき」と回答した大学が48.1%と最も多く、続いて「まずは現在の就職・採用活動時期について複数年にわたって状況を見て、十分検証すべきである」(26.4%)、「今よりも良い時期があれば、来年度からでも変えるべき」(7.8%)であった。

全体	今よりも良い時期があれば、来年度からでも変えるべき	今よりも良い時期があれば変えるべきだが、変更には十分な検討を行い、適切な準備期間を設けるべき	まずは現在の就職・採用活動時期について複数年にわたって状況を見て、十分検証すべきである	時期の変更そのものによる混乱が懸念されるので、変更すべきではない	現状の就職活動時期が良いので変えるべきでない	その他	無回答
1005	78	483	265	33	40	62	44
100.0%	7.8%	48.1%	26.4%	3.3%	4.0%	6.2%	4.4%



学校種別クロス集計表

	全体	良い時期に変更	時期変更は十分検討・準備期間要	複数年の状況で検討	混乱懸念・変更すべきでない	現状で良い	その他	無回答	
全体	1005	78	483	265	33	40	62	44	
	100.0%	7.8%	48.1%	26.4%	3.3%	4.0%	6.2%	4.4%	
学校種別	国立大学	86	2	58	20	0	1	1	4
		100.0%	2.3%	67.4%	23.3%	0.0%	1.2%	1.2%	4.7%
	公立大学	80	4	42	17	1	6	4	6
		100.0%	5.0%	52.5%	21.3%	1.3%	7.5%	5.0%	7.5%
	私立大学	552	52	280	127	16	17	36	24
		100.0%	9.4%	50.7%	23.0%	2.9%	3.1%	6.5%	4.3%
	公立短期大学	14	2	3	6	2	0	0	1
		100.0%	14.3%	21.4%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	7.1%
	私立短期大学	273	18	100	95	14	16	21	9
	100.0%	6.6%	36.6%	34.8%	5.1%	5.9%	7.7%	3.3%	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	

地域数別クロス集計表

	全体	良い時期に変更	時期変更は十分検討・準備期間要	複数年の状況で検討	混乱懸念・変更すべきでない	現状で良い	その他	無回答	
全体	1005	78	483	265	33	40	62	44	
	100.0%	7.8%	48.1%	26.4%	3.3%	4.0%	6.2%	4.4%	
地域	北海道・東北	112	8	56	33	1	4	5	5
		100.0%	7.1%	50.0%	29.5%	0.9%	3.6%	4.5%	4.5%
	関東	157	12	69	38	4	6	14	14
		100.0%	7.6%	43.9%	24.2%	2.5%	3.8%	8.9%	8.9%
	東京都	166	10	93	39	7	2	6	9
		100.0%	6.0%	56.0%	23.5%	4.2%	1.2%	3.6%	5.4%
	中部	176	14	76	48	8	8	16	6
		100.0%	8.0%	43.2%	27.3%	4.5%	4.5%	9.1%	3.4%
	近畿	190	17	88	54	3	10	12	6
		100.0%	8.9%	46.3%	28.4%	1.6%	5.3%	6.3%	3.2%
	中国・四国	96	11	51	18	5	4	5	2
		100.0%	11.5%	53.1%	18.8%	5.2%	4.2%	5.2%	2.1%
	九州・沖縄	108	6	50	35	5	6	4	2
		100.0%	5.6%	46.3%	32.4%	4.6%	5.6%	3.7%	1.9%
無回答		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	

V. 就職・採用活動における企業側の学業に対する配慮について

i. 【学生に対する企業の配慮状況】

< (1) 企業側の学生への配慮状況 >

本年度の就職・採用活動について、企業側が学生に配慮をしていたか尋ねたところ、以下の項目については、配慮している（「多くの企業で配慮していた」「ある程度の企業で配慮していた」の合計）と回答した大学が配慮していない（「配慮している企業は少なかった」「配慮している企業がなかった」の合計）と回答した大学より多かった。

- ・個別の面接日時等の設定に当たり、余裕をもって連絡が行われていた。

配慮している（46.2%） 配慮していない（23.9%）

以下の項目については、配慮していないと回答した大学が、配慮していると回答した大学より多かった。

- ・留学経験者向けのスケジュールを別途示すなど留学が不利にならないようにしていた。

「配慮している」（6.4%） 「配慮していない」（18.1%）

- ・教育実習の妨げにならないよう日程変更に応じるなどの配慮があった。

「配慮している」（19.1%） 「配慮していない」（27.8%）

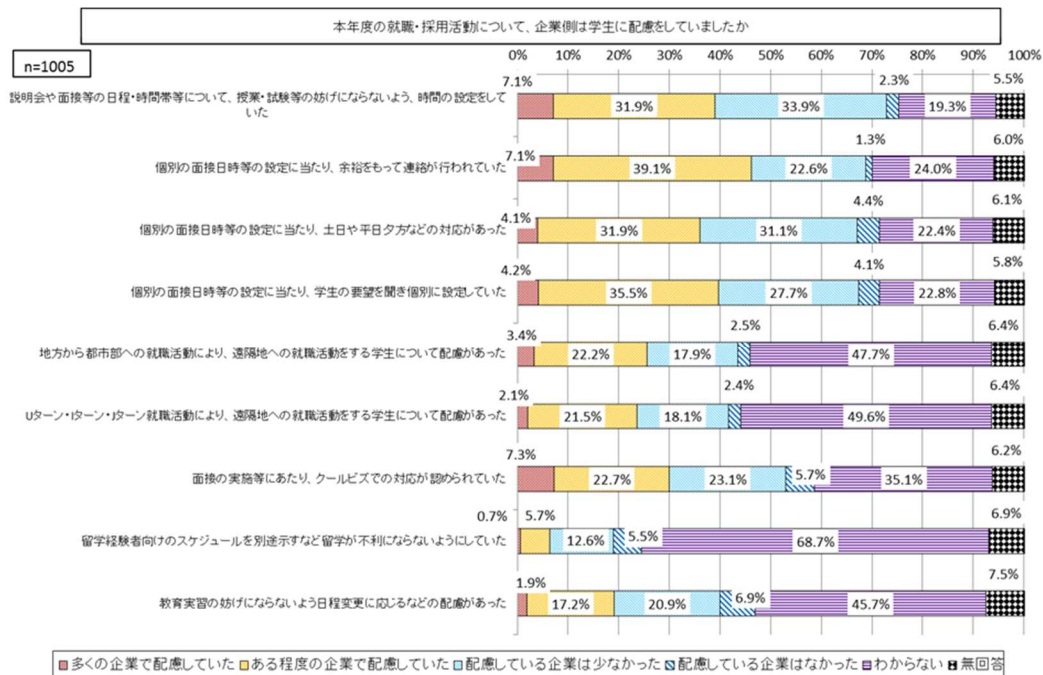
その他の項目については、概ね同程度であった。

- ・説明会や面接等の日程・時間帯について授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定をしていた。

「配慮している」（39.0%） 「配慮していない」（36.2%）

- ・個別の面接日時等の設定に当たり土日や平日夕方などの対応があった。

「配慮している」（36.0%） 「配慮していない」（35.5%） など



① 説明会や面接等の日程・時間帯等について、授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定をしていた

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	71	321	341	23	194	55
100.0%	7.1%	31.9%	33.9%	2.3%	19.3%	5.5%

② 個別の面接日時等の設定に当たり、余裕をもって連絡が行われていた

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	71	393	227	13	241	60
100.0%	7.1%	39.1%	22.6%	1.3%	24.0%	6.0%

③ 個別の面接日時等の設定に当たり、土日や平日夕方などの対応があった

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	41	321	313	44	225	61
100.0%	4.1%	31.9%	31.1%	4.4%	22.4%	6.1%

④ 個別の面接日時等の設定に当たり、学生の要望を聞き個別に設定していた。

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	42	357	278	41	229	58
100.0%	4.2%	35.5%	27.7%	4.1%	22.8%	5.8%

- ⑤ 地方から都市部への就職活動により、遠隔地への就職活動をする学生について配慮があった。

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	34	223	180	25	479	64
100.0%	3.4%	22.2%	17.9%	2.5%	47.7%	6.4%

- ⑥ Uターン・Iターン・Jターン就職活動により、遠隔地への就職活動をする学生について配慮があった。

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	21	216	182	24	498	64
100.0%	2.1%	21.5%	18.1%	2.4%	49.6%	6.4%

- ⑦ 面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていた。

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	73	228	232	57	353	62
100.0%	7.3%	22.7%	23.1%	5.7%	35.1%	6.2%

⑧ 留学経験者向けのスケジュールを別途示すなど留学が不利にならないようにしていた。

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	7	57	127	55	690	69
100.0%	0.7%	5.7%	12.6%	5.5%	68.7%	6.9%

⑨ 教育実習の妨げにならないよう日程変更に応じるなどの配慮があった。

全体	多くの企業で配慮していた	ある程度の企業で配慮していた	配慮している企業は少なかった	配慮している企業はなかった	わからない	無回答
1005	19	173	210	69	459	75
100.0%	1.9%	17.2%	20.9%	6.9%	45.7%	7.5%

※ 学校別クロス集計表及び地域別クロス集計表は、「5. 巻末資料」を参照のこと。